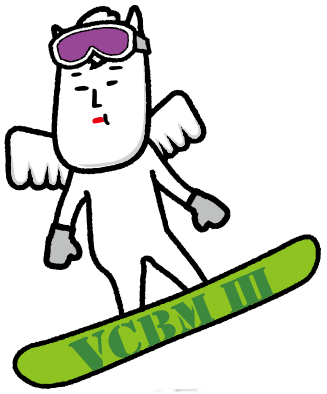
資料　1

白馬村
第２期子ども・子育て支援ニーズ調査
集　計　結　果



白馬村キャラクター
ヴィクトワール・シュヴァルブラン・村男Ⅲ世

２０１９年３月

調査の概要

（1）調査目的

白馬村では、子ども・子育て支援法に基づく新たな子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、５年間を一期とする「白馬村第２期子ども・子育て支援事業計画」を策定することとしました。この計画の策定に先立ち、確保すべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するための基礎資料として、就学前児童の保護者の意向を把握することを目的に、アンケート調査を実施しました。

（2）調査項目

住民の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」及び「今後の利用希望」について

（3）調査対象者

平成３０年１０月１日現在、村内に在住する就学前児童（０歳から５歳。ただし、同じ世帯に２人以上の対象児童がいる場合は一番年上の児童としています。）の保護者。

（4）回収結果

調査対象	発送数	有効回収数	有効回収率
就学前児童の保護者	２８３	１５６	５５．１％

（5）調査結果の取り扱い

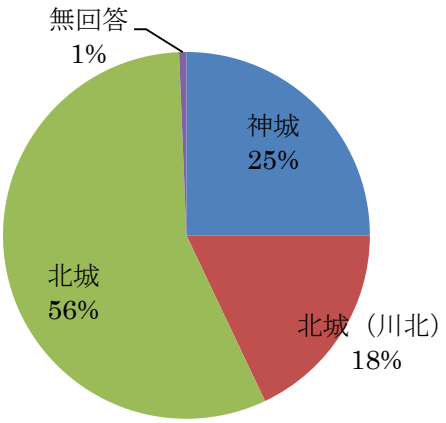
本集計結果については、分析・検証を行い、「白馬村第２期子ども・子育て支援事業計画」に掲載いたします。

お住まいの地域に関する質問

問１　お住まいの地区は

区分	回答数	割合
神城	39	25.0%
北城（川北）	28	17.9%
北城	88	56.4%
無回答	1	0.6%
合計	156	100.0%

北城（川北）…落倉・切久保・新田・森上・塩島・通・立の間・青鬼・野平・どんぐり・中込

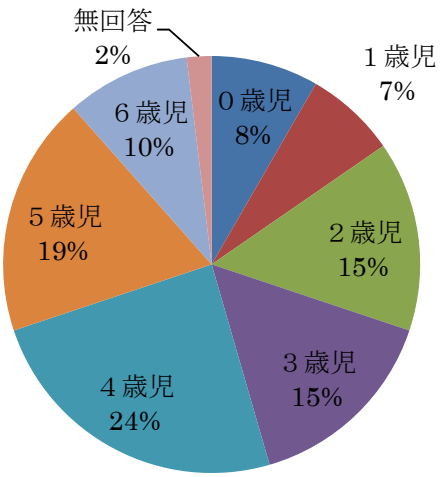


概ね北城地区が４分の３、神城地区が４分の１となっている。

宛名のお子さんとご家族の状況に関する質問

問２　宛名のお子さんの年齢は

区分	回答数	割合
０歳児	13	8.3%
１歳児	11	7.1%
２歳児	23	14.7%
３歳児	24	15.4%
４歳児	38	24.4%
５歳児	29	18.6%
６歳児	15	9.6%
無回答	3	1.9%
合計	156	100.0%

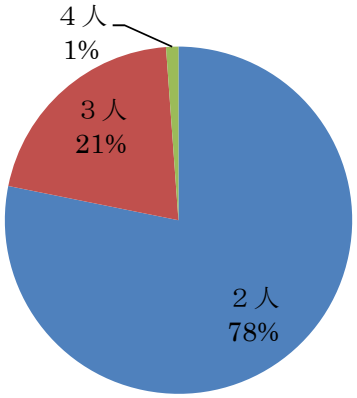


きょうだいがいる場合は一番年上を対象児童としているため、このような結果となった。

問３　宛名のお子さんを含むきょうだい数とその末子の年齢は

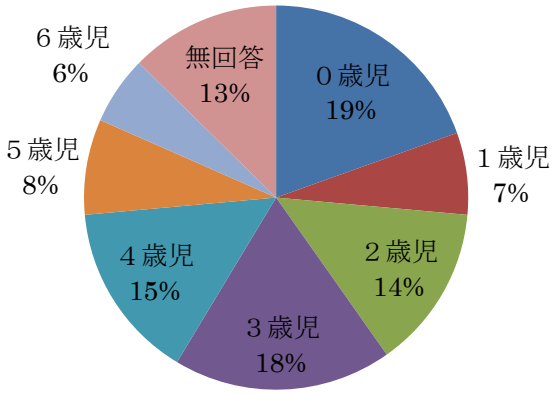
きょうだい人数

区分	回答数	割合
２人	68	78.2%
３人	18	20.7%
４人	1	1.1%
合計	87	100.0%



末子の年齢

区分	回答数	割合
０歳児	17	19.5%
１歳児	6	6.9%
２歳児	12	13.8%
３歳児	16	18.4%
４歳児	13	14.9%
５歳児	7	8.0%
６歳児	5	5.7%
無回答	11	12.6%
合計	87	100.0%

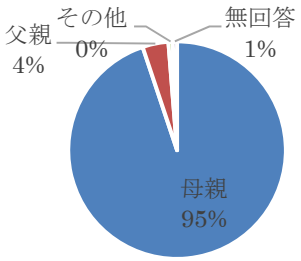


きょうだい数は２人が 68 名（78.2%）と一番多く、次に３人が 18 名（20.7%）、４人が１名（1.1%）となっている。

また、末子の年齢は０歳児が 17 名（19.5%）と一番多いが、一番少ない１歳児でも６名（6.9%）となっている。

問４　アンケートの回答者は

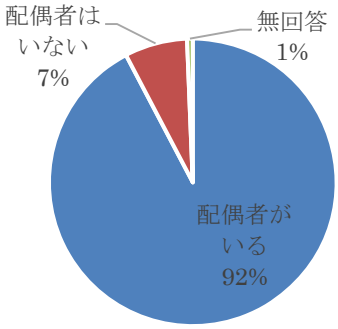
区分	回答数	割合
母親	148	94.9%
父親	6	3.8%
その他	1	0.6%
無回答	1	0.6%
合計	156	100.0%



母親が 148 名（94.9%）、父親が 6 名（3.8%）となっている。

問５　回答者の配偶関係について

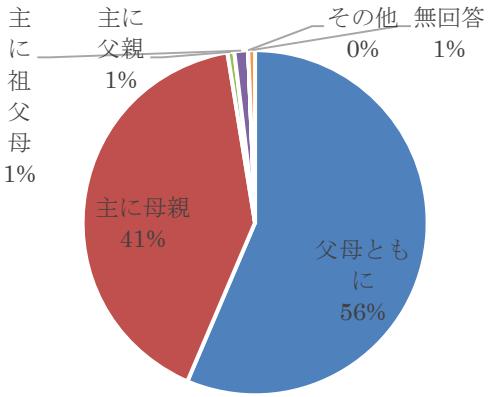
区分	回答数	割合
配偶者がいる	144	92.3%
配偶者はいない	11	7.1%
無回答	1	0.6%
合計	156	100.0%



「配偶者がいる」が 144 名（92.3%）、「配偶者はいない」が 11 名（7.1%）となっている。

問６　子育て（教育を含む）を主に行っている方は

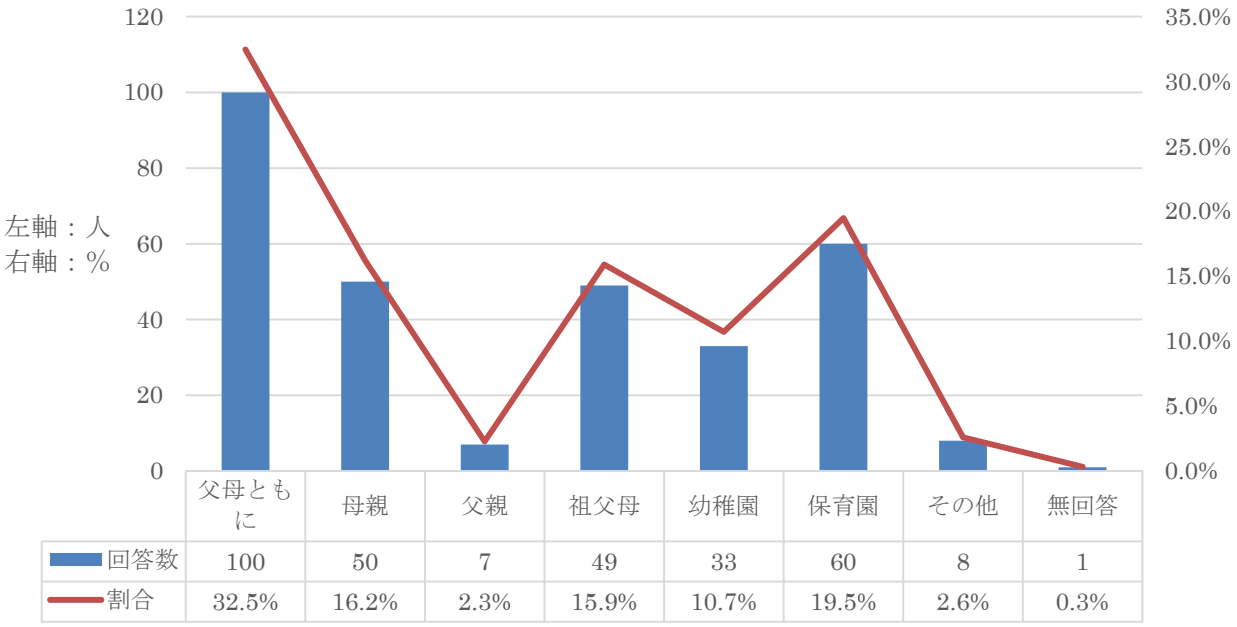
区分	回答数	割合
父母ともに	88	56.4%
主に母親	64	41.0%
主に父親	1	0.6%
主に祖父母	2	1.3%
その他	0	0.0%
無回答	1	0.6%
合計	156	100.0%



「父母ともに」が 88 名（56.4%）で一番多く、「主に母親」が 64 名（41.0%）、「主に父親」が 1 名（0.6%）、「主に祖父母」が 2 名（1.3%）となっている。

子どもの育ちをめぐる環境に関する質問

問７　子育てに日常的に関わっている者（施設）は　（重複回答）

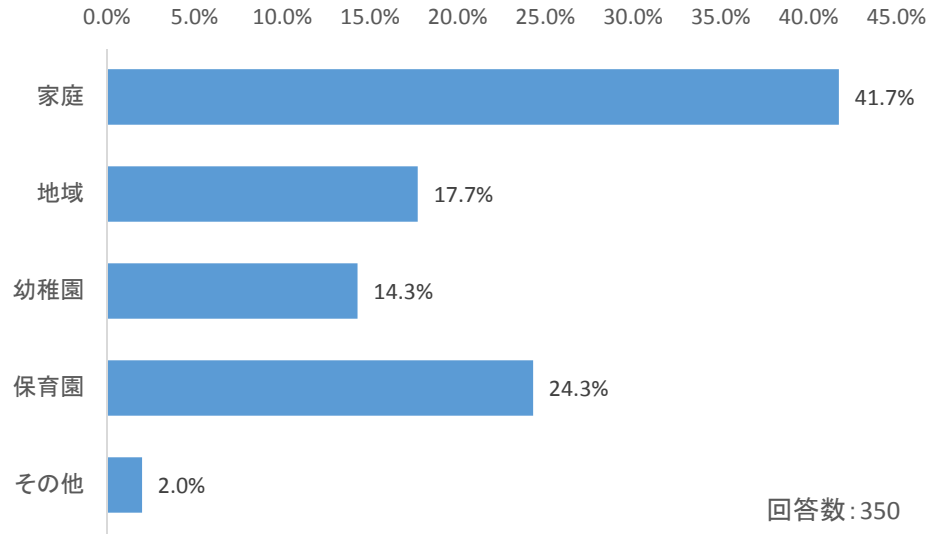


	父母ともに	母親	父親	祖父母	幼稚園	保育園	その他	無回答
回答数	100	50	7	49	33	60	8	1
割合	32.5%	16.2%	2.3%	15.9%	10.7%	19.5%	2.6%	0.3%

「父母ともに」の回答が 100 名で一番多く、「母親」の回答が５０名、「保育所」「幼稚園」の回答が９３名、「祖父母」の回答が４９名となっている。

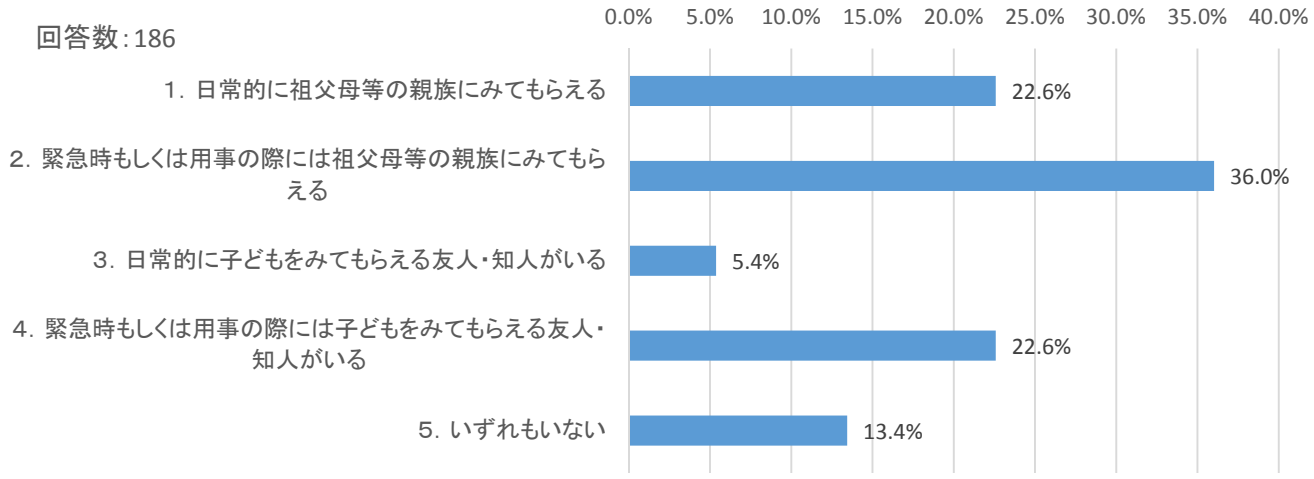
「父母ともに」と回答した人は「保育所」（38 名）、「祖父母」（37 名）、「幼稚園」（26 名）も回答している。

問８　子育てに影響すると思われる環境は（重複回答）



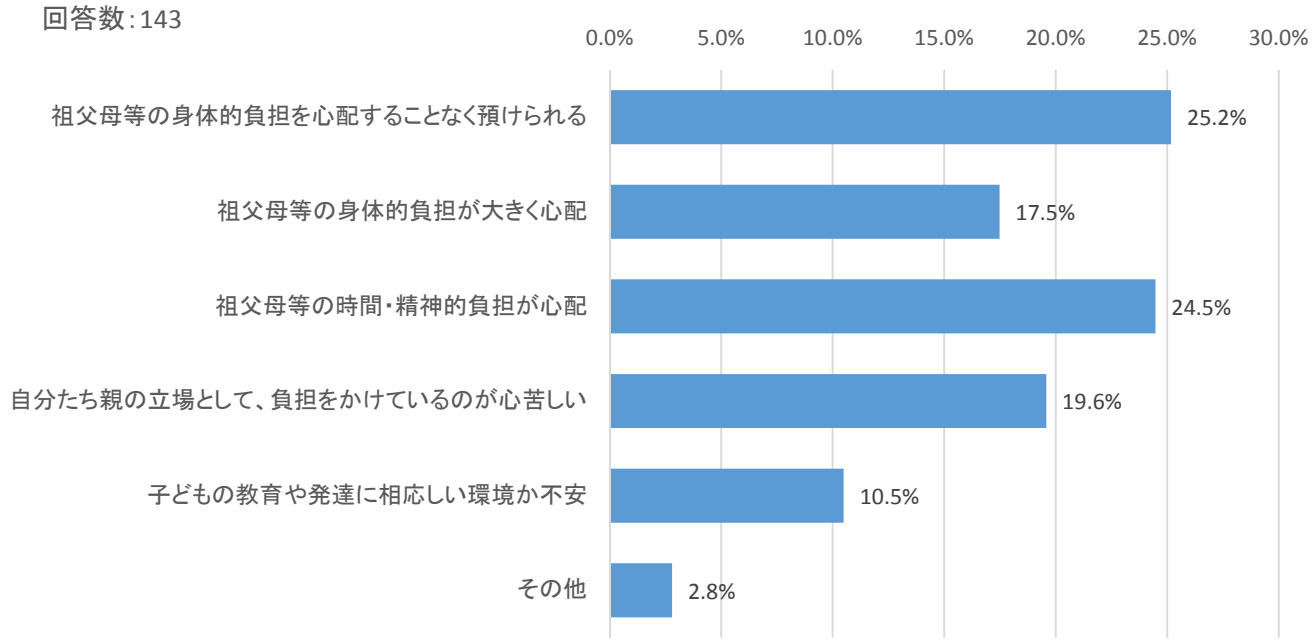
「家庭」「保育所」の回答が 36 名で一番多く、「家庭」「幼稚園」の回答が 21 名、「家庭」のみの回答が 24 名、「家庭」「地域」「保育所」の回答が 26 名となっている。

問９　お子さんをみてもらえる親族・知人がいるか（重複回答）



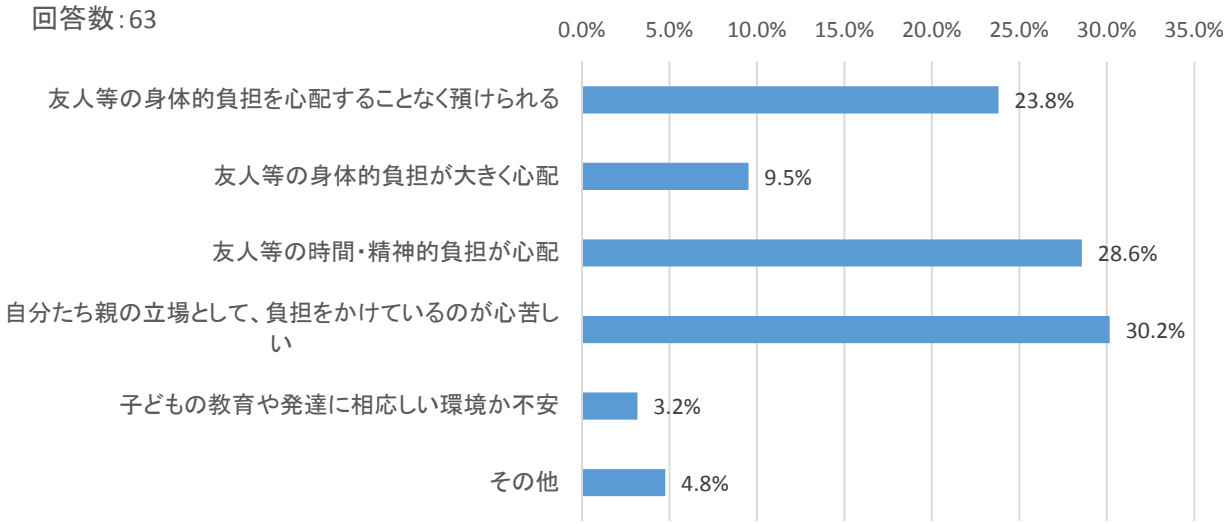
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえるが 36%と一番多く、次いで日常的に祖父母等の親族にみてもらえる、緊急時や用事の際に子どもをみてもらえる友人・知人がいるが 22.6%だった。

問９－1　【問９で１または２に〇をつけた方】の祖父母等の親族にお子さんを見てもらっている状況について（重複回答）



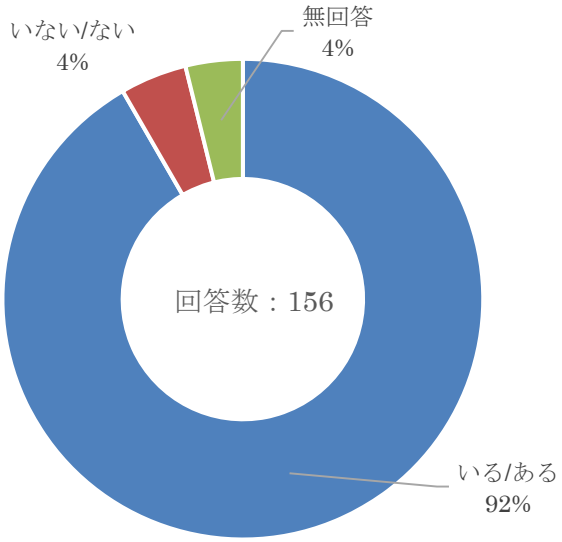
「祖父母等の身体的負担を心配することなく預けられる」が 25.2%で一番多いが、みてもらうのが心配や不安、心苦しいと回答（２から５のいずれか回答）が大半を占めた。

問９-2　【問９で３または４に○をつけた方】の友人・知人にお子さんを見てもらっている状況について（重複回答）



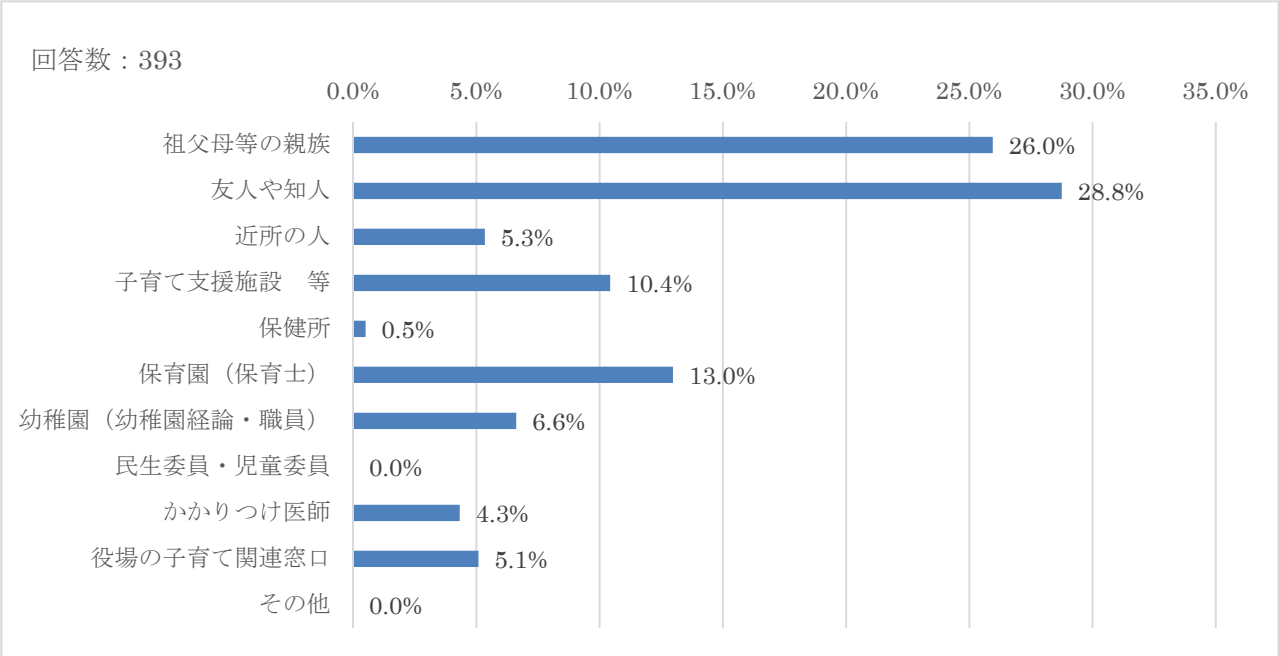
「安心して子どもをみてもらえる」が 23.8%いたが、みてもらうのが心配や不安、心苦しいと回答（２から５のいずれか回答）した人が 71.5%いた。

問 10　子育てをする上で気軽に相談できる人、場所について



「いる／ある」と回答した方が 91.7%を占めている。

問 10-1　【問 10 で　いる/ある　に○をつけた方】の相談先について（重複回答）



「祖父母等の親族」「友人や知人」の回答が一番多く 54.8%となっている。次いで、「保育園（保育士）」が 13.0%、「子育て支援施設等」が 10.4%となっている。

問 10-1　子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいか（自由記載）

- 0歳児のサポートについて10ヶ月以降でなく3ヶ月以降でも対応してくれる環境があると助かる。（自営業や仕事のある場合、非常に助かる。）
- 行政（第3者）の家庭訪問 etc.あれば良いのかなと思う。結局、ほんの数分だけ見た所で分からないとは思うが、定期的に行えば何か分かったりするのかなと。
- 満足している。
- 今まで通りで良い。
- 幼稚園のように保育園にも限られた地区だけでなく送迎バスがあると良い
- 曜日の制限なく遊べる施設（支援ルームのような）があると嬉しい。
- 冬期に託児できる所が少ない。送迎サービス。児童遊具施設。
- 病児保育・送迎バスなどの交通。デマンドバスではなく、花三昧バスみたいに村内を周遊して、電話なしで乗れるとか。
- 気軽に親子であそべる公園や施設。支援ルーム利用時間（曜日増やしてほしい）
- 行政サポートなどは利用できることすら知らないので積極的に教えてもらいたい。（存在すら知らない事もある）。小谷村のような保育園や小学生の送迎サポート。
- 窓口に行けない時にメールで相談ができると良い。子育てセミナーの日時が平日が多いので、休日開催があると嬉しい。
- 歩道と国道の境目がデコボコで、ベビーカーがひっかかる。トラックが多いので、信号のないところは、なかなか渡るのが怖い。アパートの前にイノシシが出た。熊、イノシシが出没した時子どもが一人で歩いていたりするとドキドキ。
- 子育て支援課などに話しても園に話がいっていたりとプライバシーに欠ける。古い人が多いのですぐ話が外に出る。
- 交通事故や犯罪から守る。国際化に向け幼児期からのインターナショナルスクール。医療・教育の無償化。子どもが遊べる娯楽施設、公園。
- 困った時やちょっとしたことでも気軽に子どもをあずけられるサポート。（次の日等すぐにも対応でき、お金の負担が少ないこと）
- 気軽に通える公園。子供を遊ばせながら親も仲良くなれる。
- もっと分かりやすい行政のＨＰ。妊娠から一連の情報がのっているようなもの。聞かないと知らないと受けられない様なサービス、サポートがきちんとのっていると良い。ＦＢやツイッターでの情報共有なども。
- かたよりなく必要な時にどんなサービスがあるか、どんな支援を受けられるのか、情報が欲しい。あとから、こんなのあるよなど、ママ友から知らされることもある。（発達支援、支援ルームでの行事、その他・・・）
- 夜間（１８：３０以降）に子どもをみてもらえるところがあると助かる。仕事や祖父母の都合も付かない時などあるため。
- 病児保育の施設があると良いと思う。
- 仕事をする上で子どもをみていただける施設（ちょっとしたかぜのときなども）が充実していると働きやすい。

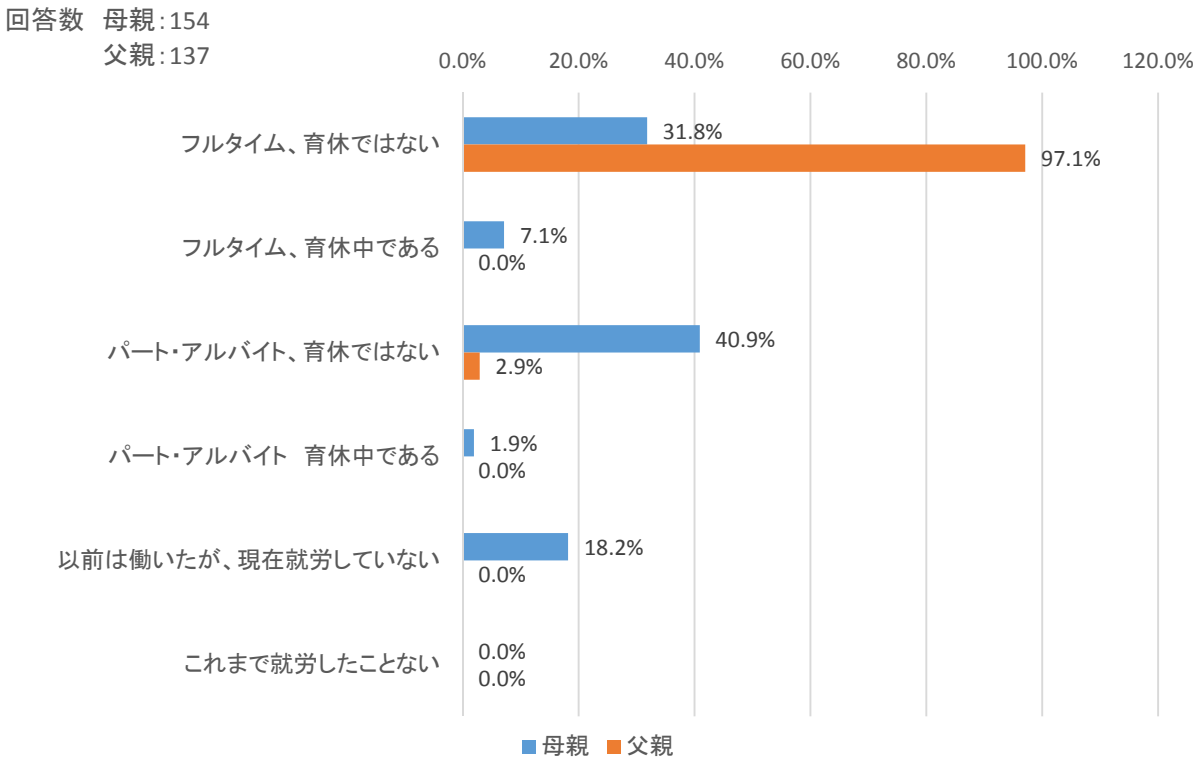
- 産前産後や病気の際に気軽に家の事をたのめれば安心できる。保育園の送迎だけでもありがたい。
- 気軽に相談できる人は多いが、専門的な知識を持っている人の話も聞けると良い。
- 母親が体調不良の際子どもの保育園などの送迎をしてくれる人がいたりすると助かる。
- 電話相談（気軽にかけられて、どこの誰かがわからないような）
- 気軽に子育ての相談ができたり、急な時に預かってくれる場所があればいいなと思う。
- 村の体操教室やその他子どもが参加できる教室などとっても楽しそうでありがたいのですが、年齢のもっと低い 0 歳児～3 歳児を対象としたリトミック教室や体操教室があると、その場に行って親同士の情報交換や子どもの輪も広がっていけるかなと思う。
- グリーンスポーツや石の公園。とっても良い広場場所はあるが、もう少し子どもが遊べる安全な場所になると良いなと思う。入場料をしっかりとって遊具をきれいにすることや安全な場所を増やしていってほしい。
- よっぽど重い病状が出ない限り（微熱など）9:00～16 : 00 程度で一日でも預かってもらえると助かる。（特に冬場）
- サポートが必要になった時、頼る事ができるよう、どんなサポートがあるのかをわかりやすく周知することが必要。
- 発達障がいに関してのスペシャリストがいてほしい。
- 経済的な事の支援。
- 気軽に話せる関係性
- 特にいらない。あいさつ程度。
- 必要な時に適宜必要な情報が受取れれば良い。
- 療育施設が白馬にもあると良いなと思う。
- 母親もしくは母子であつまるようなイベントがもっとあると、いろいろ話が出来たりするかも。大町の平公民館などでやってるイベントのような。ヨガやフリマ、カフェやハンドマッサージなどと一緒に保健師さんや保育士さんに相談できるようなコーナーがあったり、もっと気軽にサーキットが出来るコーナーをもうけたり。難しいかもしれないが・・・
- 自分の体調が悪い時に子どもを預けられる人がいて欲しい。子供が 1 歳くらいの時に自分が高熱で主人も仕事休めず、両親は遠くに住んでいて頼れず、車も使えず、1 歳の子を見てくれる友だちもいなかったのでその時は本当に辛かった。支援ルームの一時保育は最初慣らしで数時間しか見てもらえないし、弁当の用意もある。第一 2 日前に予約しないといけないので緊急時や本当に苦しい時は意味がない。
- 休日保育（支援ルーム）の開所時間の延長（せめて 18 時くらいまで）
- 病気の時保育してもらえる施設があると良い。
- 習い事の送迎。特に送りがフルタイム勤務の共働きだと出来ない為困っている。送りが出来ない為子どもがやりたいと言っている習い事ができない。
- 困った時にいつでもすぐに助けてもらえると本当に助かる。
- 病児保育
- 今は特に思いつかない。白馬村のサポートは手厚いと思う。
- ファミリーサポートを充実させてほしい。共働きの場合忙しく身体も精神も疲れ果てる事がある。気軽に夕食作りなど家事を手伝ってもらいたい。乳児期に限らずファミリーサポートを使用する時の補助券が欲しい。働いていると習い事の送迎も時間的に難しいこともある。そういったサポート

もあればありがたい。

- 急用や自分が病気になったときに気兼ねなく子供たちを見てもらえれば本当に助かる。
- 病児保育があると本当に助かる。
- 希望はあっても現実にはこの白馬では無理だと思うので書かない。
- 身近な人ではない人に相談したい。気軽に相談などできるなら悩まない。子育ては本当に孤独だと思う。
- 白馬村に住んでいれば自分の子どもにスキーを滑れるようにしてあげたい。未就学児がいる家庭への白馬、大町、小谷のスキー場共通リフト券や割引券があれば連れて行く回数も増えるのでお願いしたい。
- 各行政区にすべり台やブランコ１つでもあれば子供たちが集まって遊ぶ場所ができるのでお願いしたい。
- 相談できる環境は整ってると思うが、自ら利用する人が多いとは思えない。もっと参加型の学習機会やイベントがあれば自然と人は集まりその中で親子共に学ぶ、知る事ができると思う。
- 療育を必要とする子供を育てています。村の教育課（子育て支援課）から定期的な連絡が全くない。保育園が決まりそのままで書類上の手続きの時だけの連絡。「村で育てましょう！！」はいいが、支援課の意味がわからない。他市町村はもっと手厚い。
- 風邪を引いている子供を預かってくれる場所。子供の保育園の送り迎えをしてくれるバス。
- 支援ルームのように小学生くらいまで遊べるところでサポートの人と話が出来ると使いやすい。
- 天気が悪くても安心して遊べる場所の提供。土日に母以外が仕事で家に居なくても、子どもを連れて行ける所が確保されているとありがたい。
- 話しを聞いてくれること。

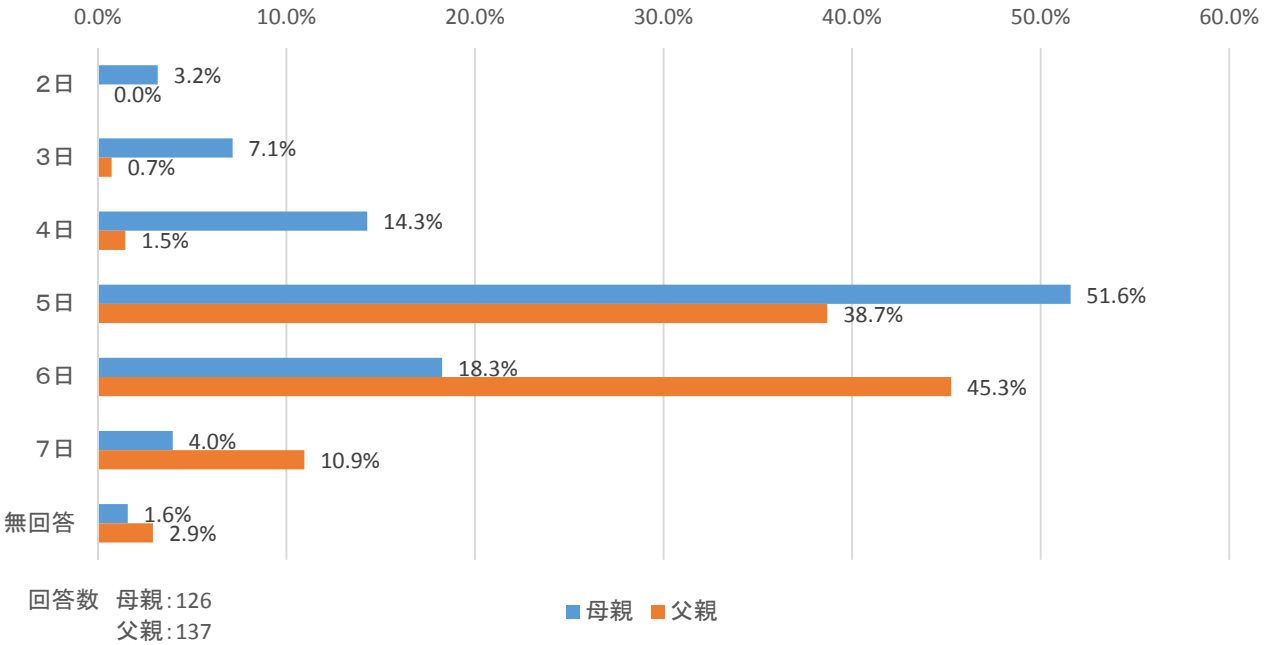
保護者の就労状況に関する質問

問 12　お子さんの保護者の現在の就労状況について

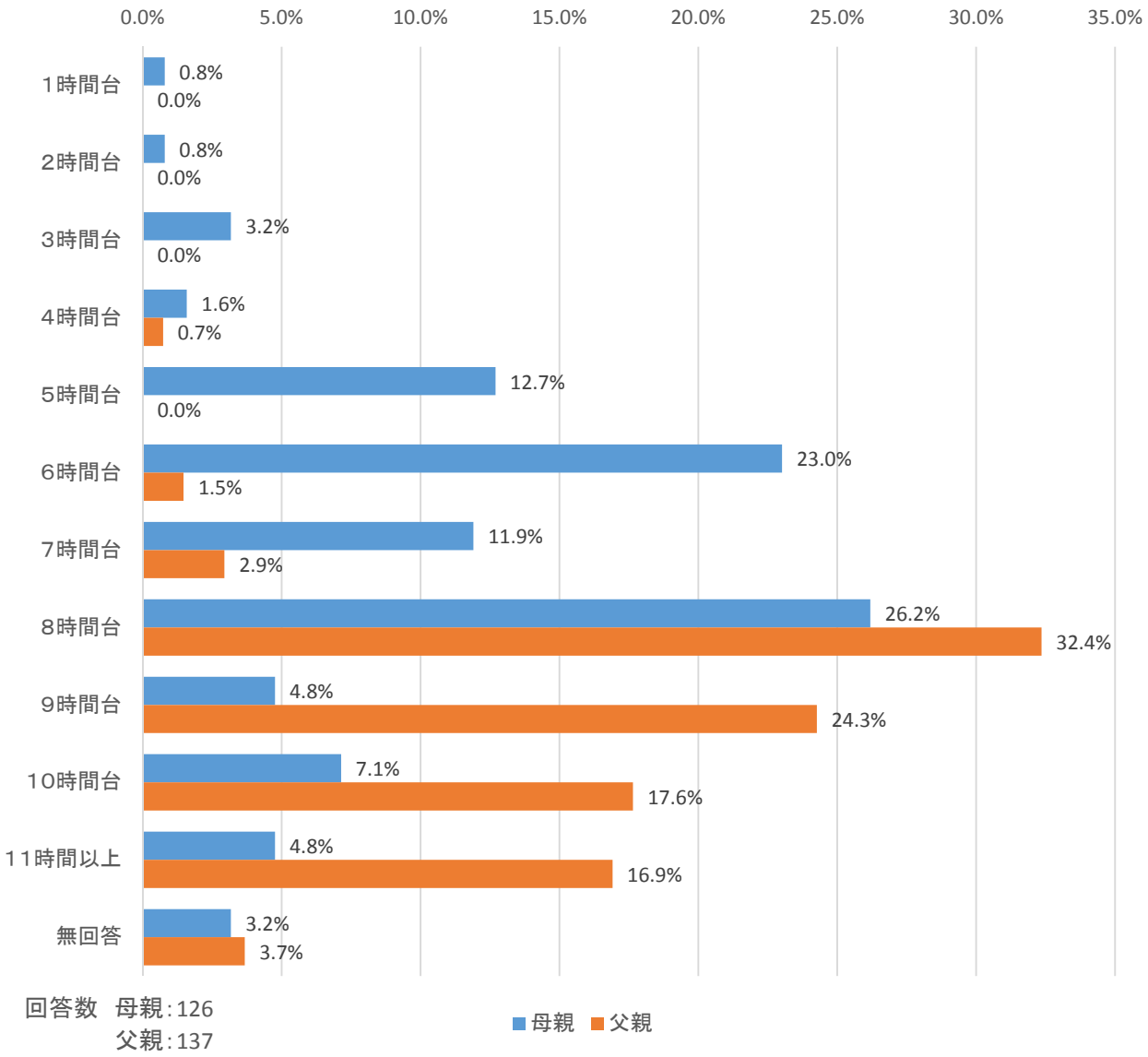


保護者の就労状況について 1～4（就労している）と回答した方の週当たり就労日数と 1 日当たり就労時間

週当たりの就労日数

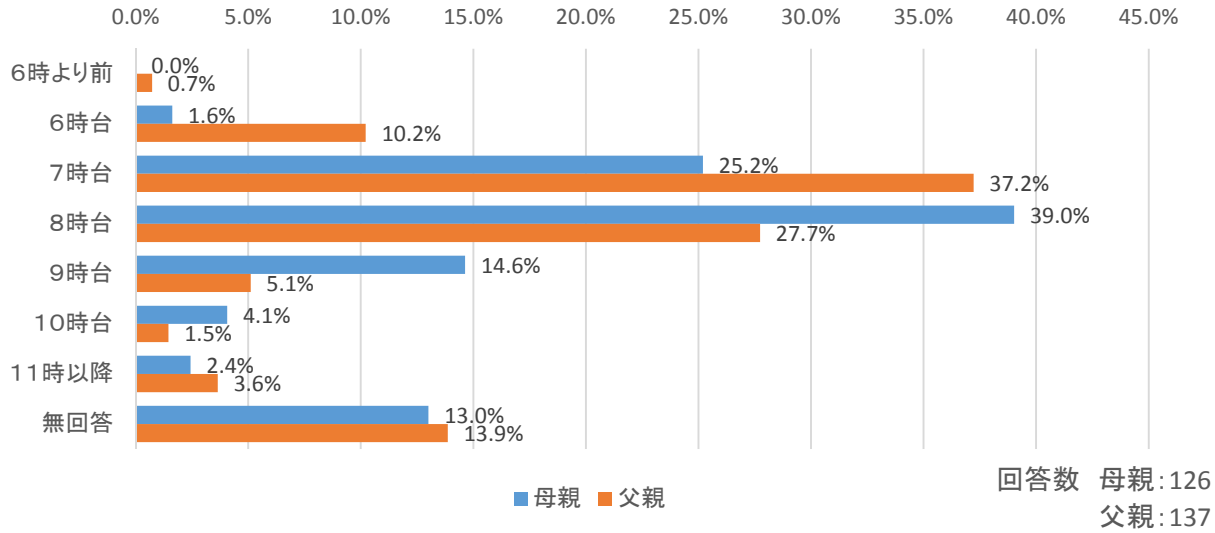


1日当たりの就労時間

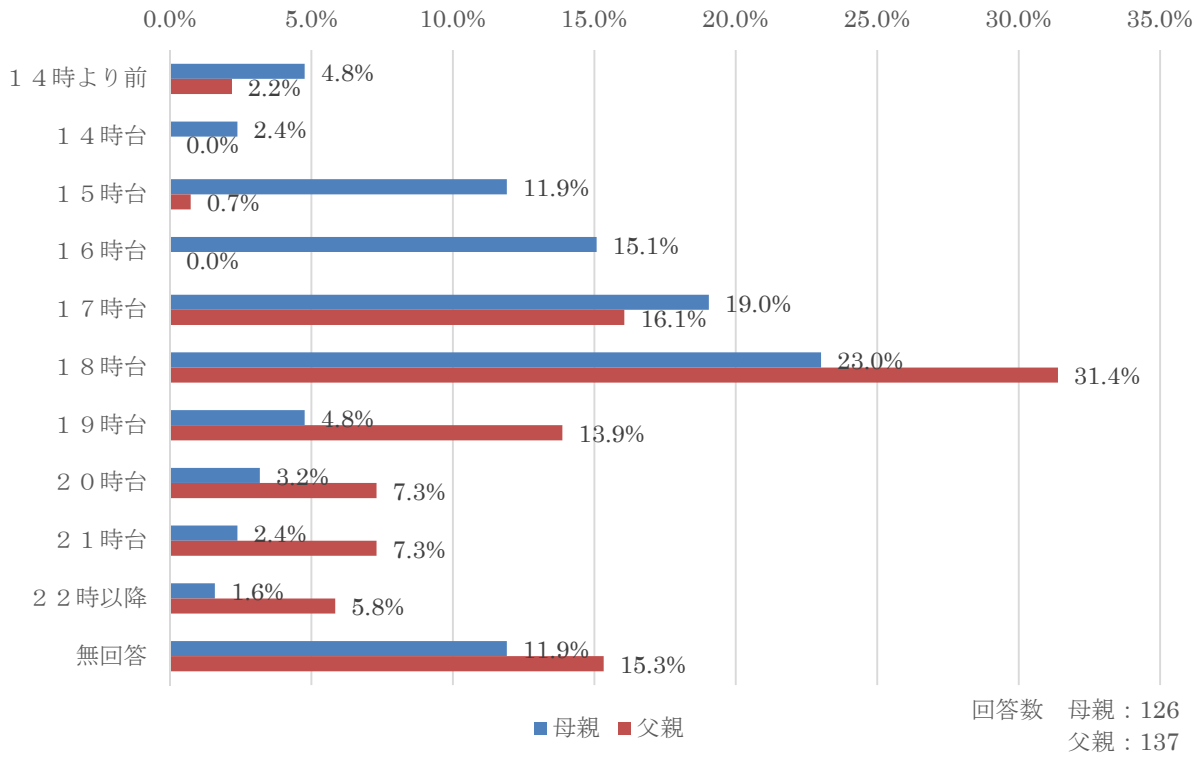


保護者の就労状況について1～4（就労している）と回答した方の家を出る時刻と帰宅時刻

家を出る時刻



帰宅時刻



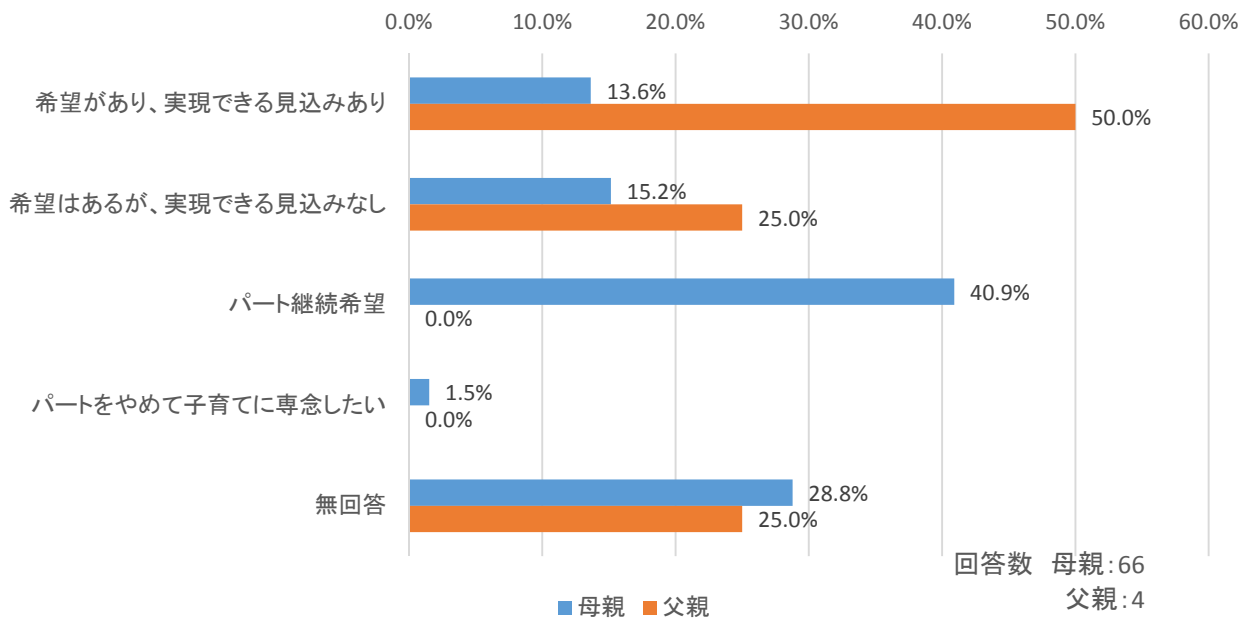
母親では、就労中（産休・育休・介護休業中含む）が全体の 81.8%をしめている。週当たりの就労日数は５日（51.6%）が一番多く、１日当たりの就労時間は８時間台（26.2%）、６時間台（23.0%）となっている。家を出る時刻は午前８時台（39%）、帰宅時間は午後６時台（23%）が最も多い。

また、就労時間が８時間の場合では、家を出る時間は午前７時４０分から８時、帰宅時間は午後５時３０分から６時が多い。就労時間が６時間の場合では、家を出る時間は午前８時３０分から９時、帰宅時間は午後４時から５時が多い。

父親では就労中が 100%となっている。週当たりの就労日数は６日（45.3%）が一番多く、１日当たりの就労時間は８時間台（32.4%）、９時間台（24.3%）、１０時間（17.6%）となっている。家を出る時刻は午前７時（37.2%）、帰宅時間は午後６時（31.4%）が最も多い。

また、就労時間が８時間の場合では、家を出る時間は午前７時３０分から８時、帰宅時間は午後５時３０分から午後６時が多い。就労時間が９時間の場合では、家を出る時間は午前７時３０分から８時、帰宅時間は午後６時３０分から午後７時が多い。就労時間が１０時間の場合では、家を出る時間は午前７時３０分から８時、帰宅時間は午後６時３０分から午後７時が多い。

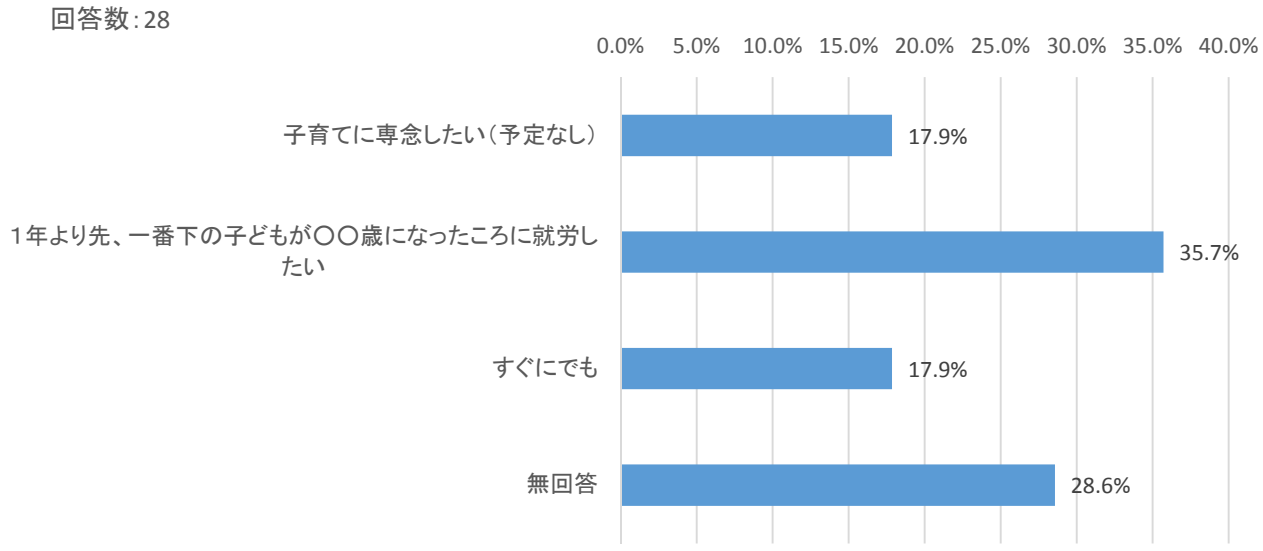
問 13　【問 12（1）（2）で「3.4」（パート・アルバイト等で就労している）に回答した方】のフルタイムへの転換希望について



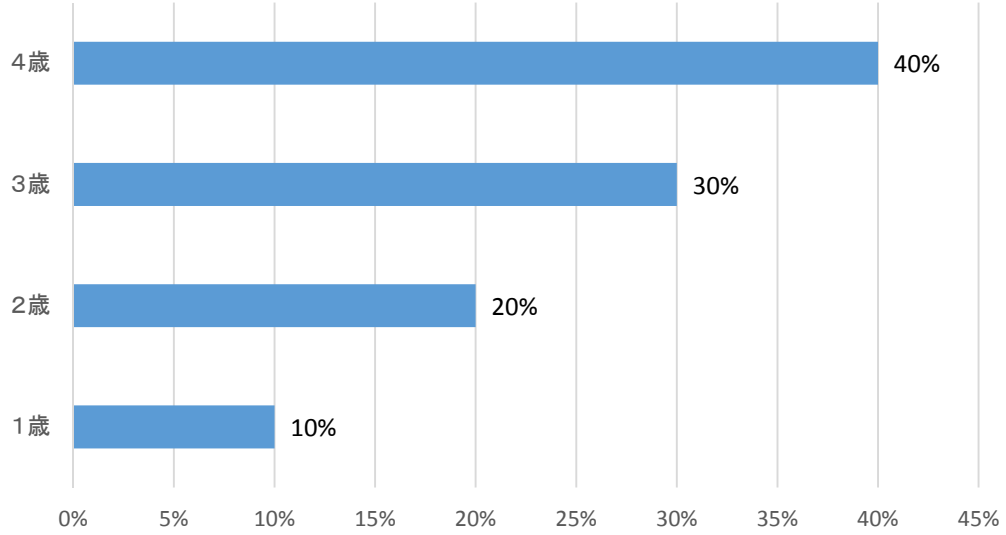
母親は「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」が 40.9%で一番多く、父親は「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」が 50.0%で一番多い。

問 14　【問 12（1）（2）で 5（以前は就労していたが、現在は就労していない）または 6（これまで就労したことがない）と回答した方】の就労希望について

（1）母親



（1）の 2「１年より先、一番下の子どもが〇〇歳になったころに就労したい」の回答の〇〇歳について



（1）で 3「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」と回答した方について

（1） 希望する就労体系

区分	回答数	割合
フルタイム	0	0
アルバイト	5	100%
合計	5	100.0%

（2） １週当たり何日就労したいか

区分	回答数	割合
３日	1	20.0%
４日	2	40.0%
５日	1	20.0%
無回答	1	20.0%
合計	5	100.0%

（3） １日当たり何時間就労したいか

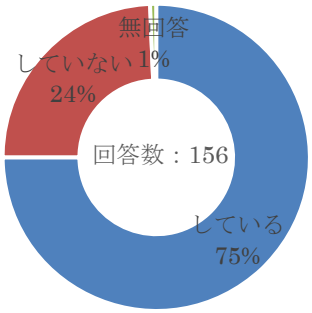
区分	回答数	割合
４時間	1	20.0%
５時間	1	20.0%
６時間	2	40.0%
無回答	1	20.0%
合計	5	100.0%

母親は一番下の子どもが４歳になったころに就労したいという回答が一番多い。希望する就労形態はアルバイトが多いが、回答結果から見ると希望する勤務日数・時間は判断できない。

父親は該当者がいなかった。

お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況に関する質問

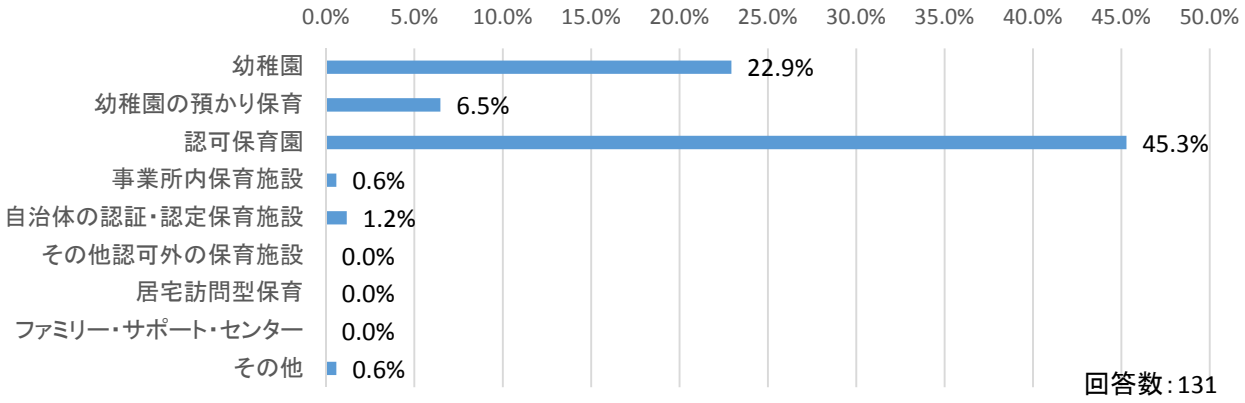
問 15　幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育の事業」の利用について



「利用している」が 75.0%となっている。

問 15-1 から問 15-4 は、問 15 で「利用している」と回答した方への質問

問 15-1　平日の教育・保育の事業の年間を通じた定期的な利用について（重複回答）



認可保育所が 45.3%、幼稚園が 22.9%の順となっている。

問 15-2　問 15-1 の事業の現在の利用状況と希望について

（１）　現在

１週間当たりの利用日数

日数	回答数	割合
４日	3	2.3%
５日	106	80.9%
６日	6	4.6%
無回答	16	12.2%
合計	131	100.0%

１日当たりの利用時間

時間	回答数	割合
１時間	1	0.8%
１時間３０分	1	0.8%
２時間	1	0.8%
６時間	6	4.6%
６時間３０分	11	8.4%
７時間	28	21.4%
７時間１０分	1	0.8%
７時間２０分	2	1.5%
７時間３０分	11	8.4%
７時間４０分	2	1.5%
７時間５０分	1	0.8%
８時間	19	14.5%
８時間３０分	6	4.6%
９時間	8	6.1%
９時間３０分	4	3.1%
９時間４０分	1	0.8%
９時間５０分	1	0.8%
１０時間	4	3.1%
１０時間３０分	2	1.5%
１１時間	2	1.5%
無回答	19	14.5%
合計	131	100.0%

何時から

開始時間	回答数	割合
7:30	4	3.1%
7:40	1	0.8%
7:50	2	1.5%
8:00	19	14.5%
8:10	1	0.8%
8:15	2	1.5%
8:20	3	2.3%
8:30	38	29.0%
8:40	7	5.3%
8:45	1	0.8%
8:50	2	1.5%
9:00	23	17.6%
9:30	2	1.5%
15:30	2	1.5%
16:00	1	0.8%
無回答	23	17.6%
合計	131	100.0%

何時まで

終了時間	回答数	割合
14:30	1	0.8%
15:00	2	1.5%
15:30	23	17.6%
15:40	2	1.5%
15:50	5	3.8%
16:00	25	19.1%
16:10	2	1.5%
16:15	1	0.8%
16:20	4	3.1%
16:30	12	9.2%
17:00	8	6.1%
17:30	9	6.9%
17:40	2	1.5%
17:50	2	1.5%
18:00	7	5.3%
18:20	2	1.5%
18:30	1	0.8%
19:00	1	0.8%
無回答	22	16.8%
合計	131	100.0%

（２）　希望

１週間当たりの利用日数

日数	回答数	割合
５日	67	51.1%
６日	11	8.4%
７日	1	0.8%
無回答	52	39.7%
合計	131	100.0%

１日当たりの利用時間

時間	回答数	割合
２時間３０分	1	0.8%
２時間５０分	1	0.8%
６時間	2	1.5%
６時間３０分	6	4.6%
７時間	11	8.4%
７時間１０分	1	0.8%
７時間２０分	1	0.8%
７時間３０分	6	4.6%
８時間	20	15.3%
８時間３０分	4	3.1%
９時間	10	7.6%
９時間３０分	4	3.1%
９時間４０分	1	0.8%
９時間５０分	1	0.8%
１０時間	2	1.5%
１０時間３０分	1	0.8%
１１時間	3	2.3%
無回答	56	42.7%
合計	131	100.0%

何時から

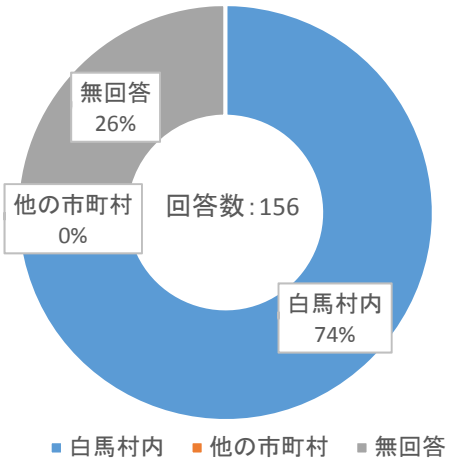
開始時間	回答数	割合
7:00	1	0.8%
7:30	3	2.3%
7:40	1	0.8%
8:00	20	15.3%
8:20	1	0.8%
8:30	26	19.8%
8:40	1	0.8%
8:45	1	0.8%
9:00	18	13.7%
9:30	2	1.5%
15:30	1	0.8%
16:00	1	0.8%
無回答	55	42.0%
合計	131	100.0%

何時まで

終了時間	回答数	割合
15:00	1	0.8%
15:30	8	6.1%
15:40	1	0.8%
15:50	1	0.8%
16:00	16	12.2%
16:30	15	11.5%
17:00	10	7.6%
17:30	9	6.9%
17:40	1	0.8%
17:50	1	0.8%
18:00	6	4.6%
18:30	5	3.8%
19:00	2	1.5%
無回答	55	42.0%
合計	131	100.0%

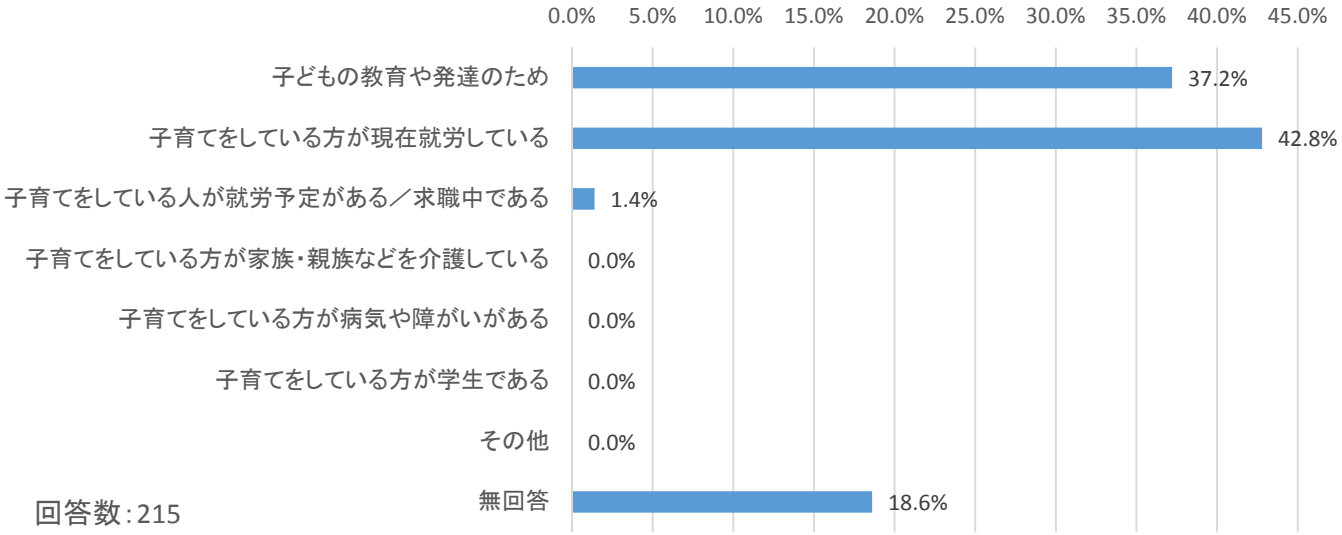
１ 週間当たりの利用日数は現在では５日が 80.9%となっており、希望する利用日数でも５日が 51.1%と一番多いが、６日希望が 8.4%ある。１ 日当たりの利用時間は現在７時間から８時間が多いが、希望もほぼ同様ではあるが、９時間を希望される割合も、7.6%ある。開始時間は現在、希望とも午前８時３０分が一番多く、終了時間は現在、希望とも午後４時が一番多い。また、現在より希望の方が無回答者数が多いが、その理由は現状で満足しているものと考えられる。

問 15-3　現在利用している教育・保育事業の実施場所について



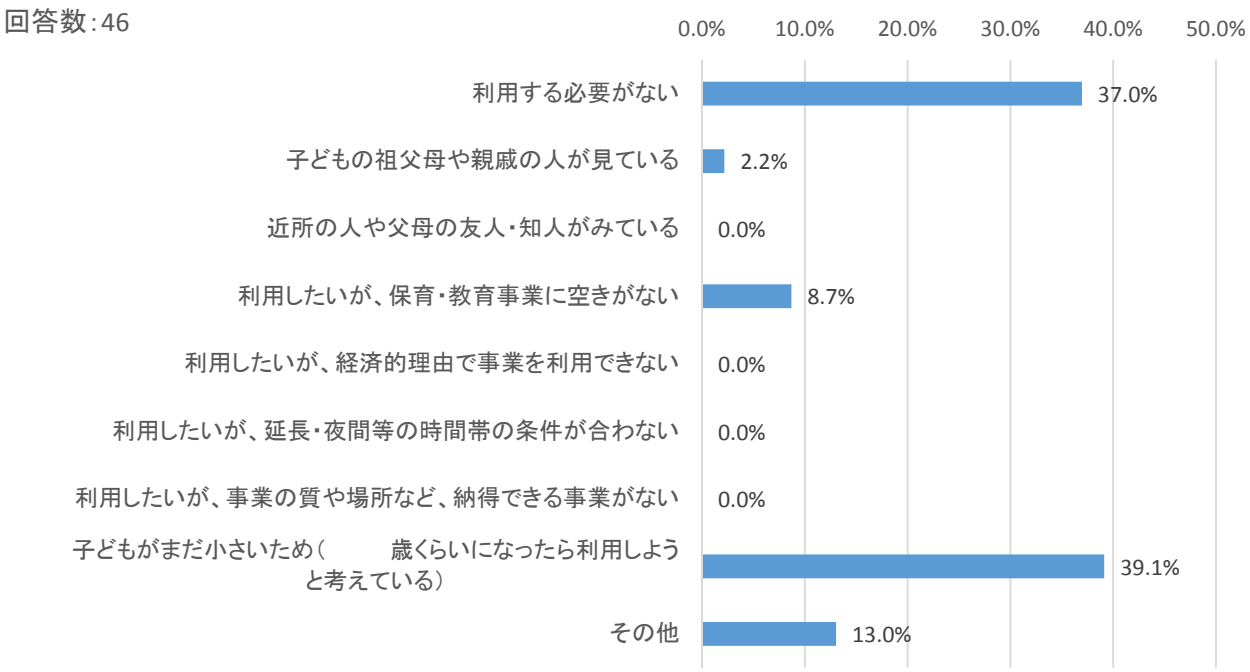
「居住している市区町村内　白馬村内」が 74.4%となっている。

問 15-4　平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由について（重複回答）



「子育て（教育を含む）をしている人が現在就労している」が 42.8%で一番多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 37.2%となっている。両方回答した人が 56 名いた。

問 15-5　【問 15 で「利用していない」と回答した方】の利用していない理由について（重複回答）

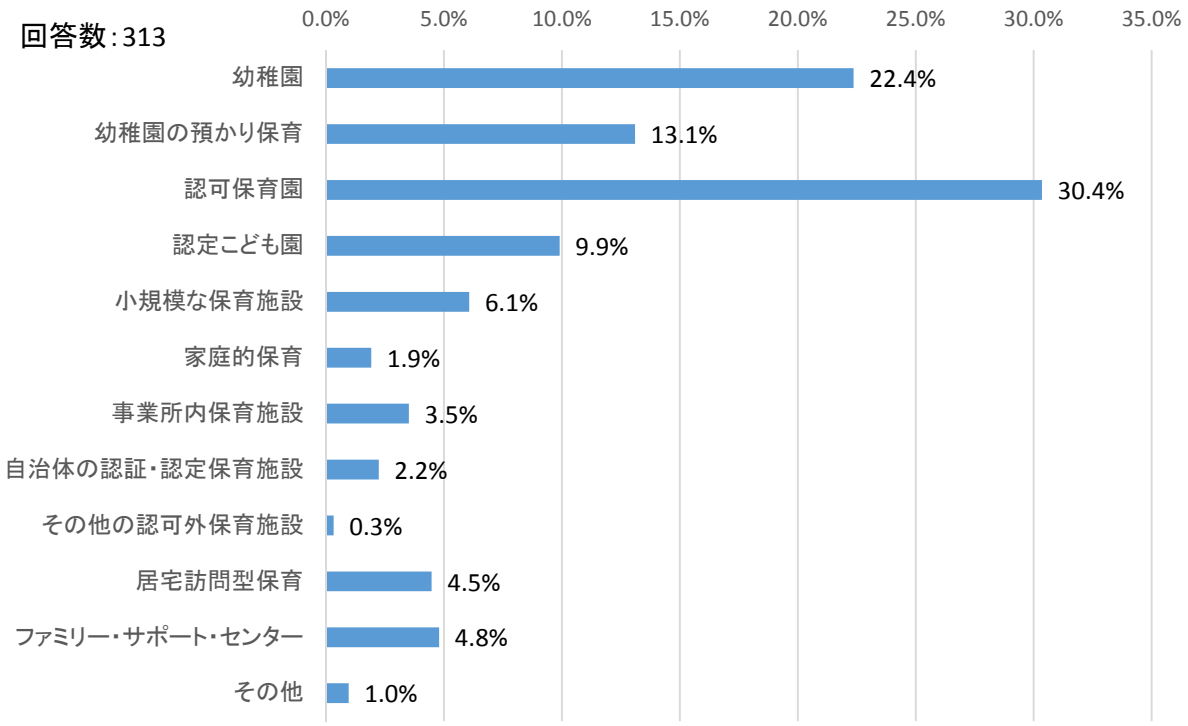


（　　歳くらいで利用したいと考えているか）

年齢	回答数	割合	年齢	回答数	割合
10 か月	1	5.6%	3 歳	10	55.6%
1 歳	4	22.2%	4 歳	1	5.6%
2 歳	1	5.6%	無回答	1	5.6%
			合計	18	100.0%

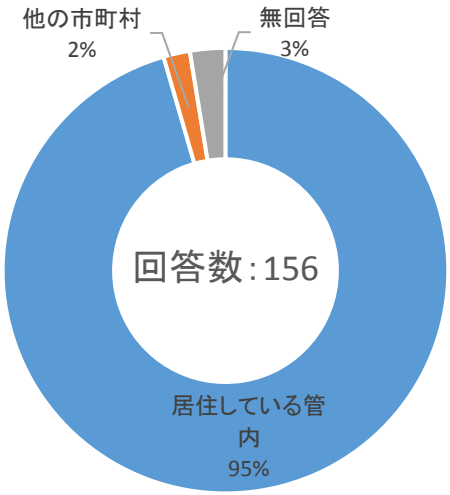
「子どもがまだ小さいため」が 39.1%で一番多く、「利用する必要がない」が 37%となっている。子どもが何歳になったら利用したいかとの質問には 3 歳（55.6%）、次いで 1 歳（22.2%）と多かった。

問 16　現在の利用の有無にかかわらず平日の教育・保育の事業として「定期的に」利用したいと考える事業について（重複回答）



154 人からの回答があり、「認可保育所」のみの回答が 47 名、「幼稚園」のみの回答が 21 名、「認可保育所」「幼稚園」の両方回答した人が 10 名いた。

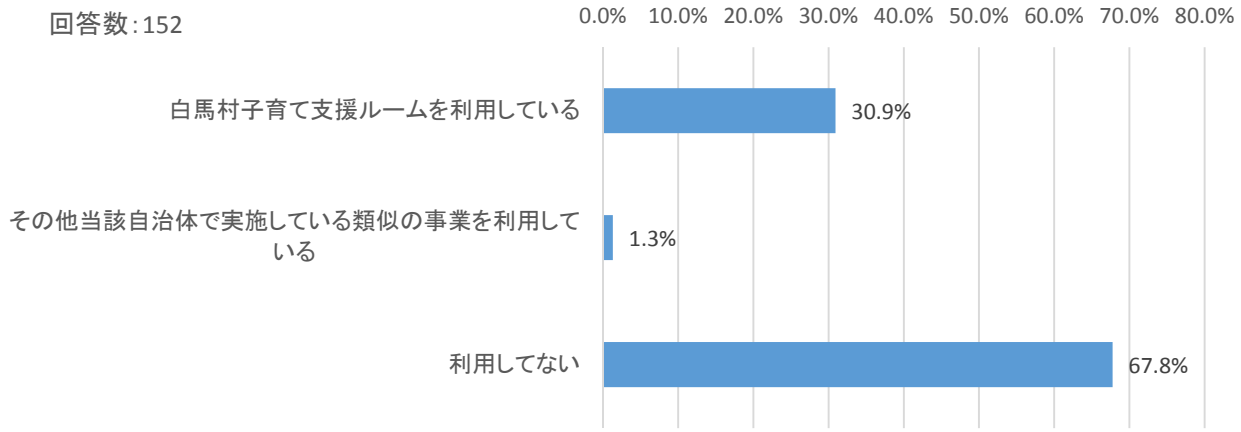
問 16-1　教育・保育事業を利用したい場所について



「居住している市区町村内」が 95.5%となっている。

お子さんの地域の子育て支援事業の利用状況に関する質問

問 17　地域子育て支援拠点事業の利用状況について（重複回答）



白馬村子育て支援ルームの利用回数

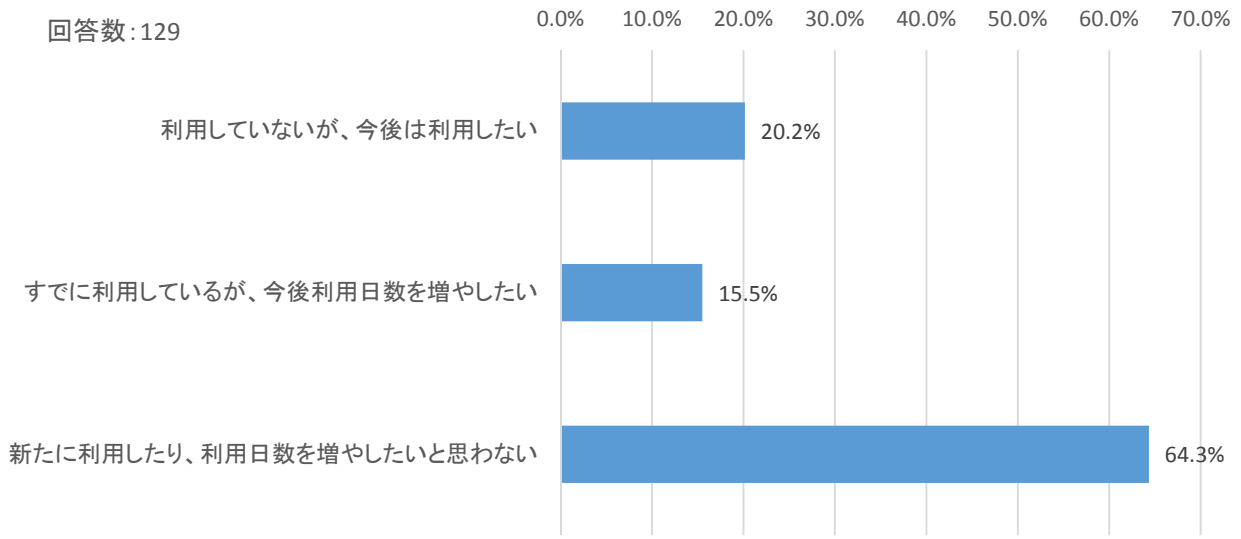
区分	回答数	割合
1週間当たり　1回	8	14.8%
2回	12	22.2%
3回	1	1.9%
5回	1	1.9%
1カ月当たり　1回	8	14.8%
2回	9	16.7%
3回	6	11.1%
4回	5	9.3%
5回	1	1.9%
無回答	3	5.6%
合計	54	100.0%

その他自治体で事業を利用している回数

区分	回答数	割合
1週間当たり　1回	2	66.7%
1カ月当たり　1回	1	33.3%
合計	3	100.0%

150 人からの回答があり、他の自治体の事業を利用している人は地域子育て支援拠点事業も利用している。「地域子育て支援拠点事業を利用している」と回答した人のうち 4 歳以上児童は 47 名中 7 名で、3 歳以下児童は 47 名中 40 名となっている。「利用していない」の回答数のうち 68 名は 4 歳以上児童である。また利用回数は、「1 週間当たり 2 回」が 22.2%で一番多い。

問 18　地域子育て支援拠点事業の今後の利用について



利用していないが、今後利用したい

区分	回答数	割合
１週間当たり　　１回	4	15.4%
２回	5	19.2%
３回	2	7.7%
５回	1	3.8%
１カ月当たり　　１回	2	7.7%
２回	1	3.8%
３回	3	11.5%
４回	1	3.8%
５回	1	3.8%
８回	1	3.8%
１０回	1	3.8%
無回答	4	15.4%
合計	26	100.0%

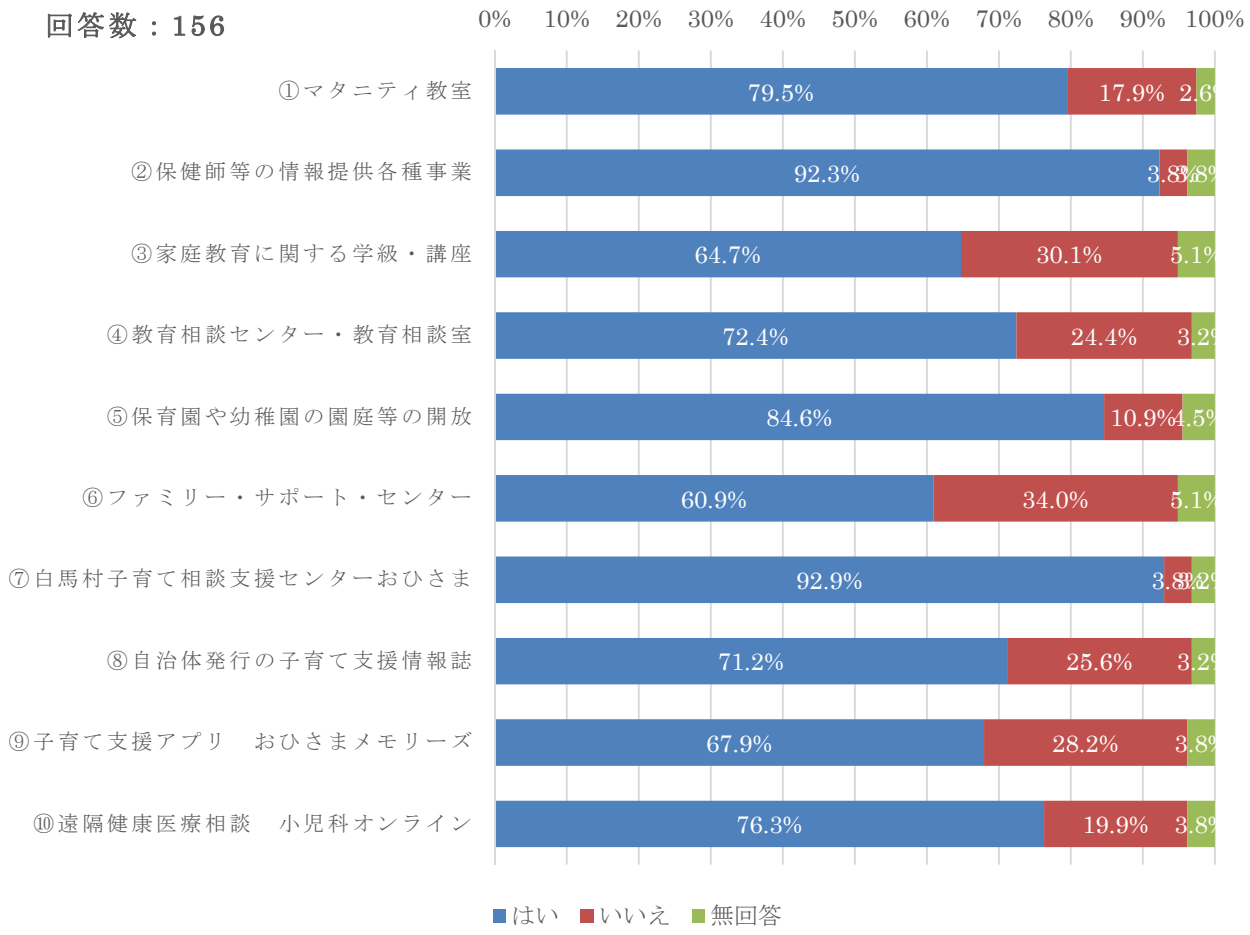
すでに利用しているが、今後利用日を増やしたい

区分	回答数	割合
１週間当たり　　１回	5	25.0%
２回	1	5.0%
５回	1	5.0%
１カ月当たり　　１回	1	5.0%
２回	1	5.0%
３回	2	10.0%
４回	2	10.0%
５回	1	5.0%
６回	2	10.0%
８回	1	5.0%
無回答	3	15.0%
合計	20	100.0%

「利用していないが、今後は利用したい」が 20.2%あり、その利用回数では１週間当たり２回程度が 19.2%が多かった。また「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 15.5%で、その利用回数は「１週間当たり１回」が 25.0%で一番多い。

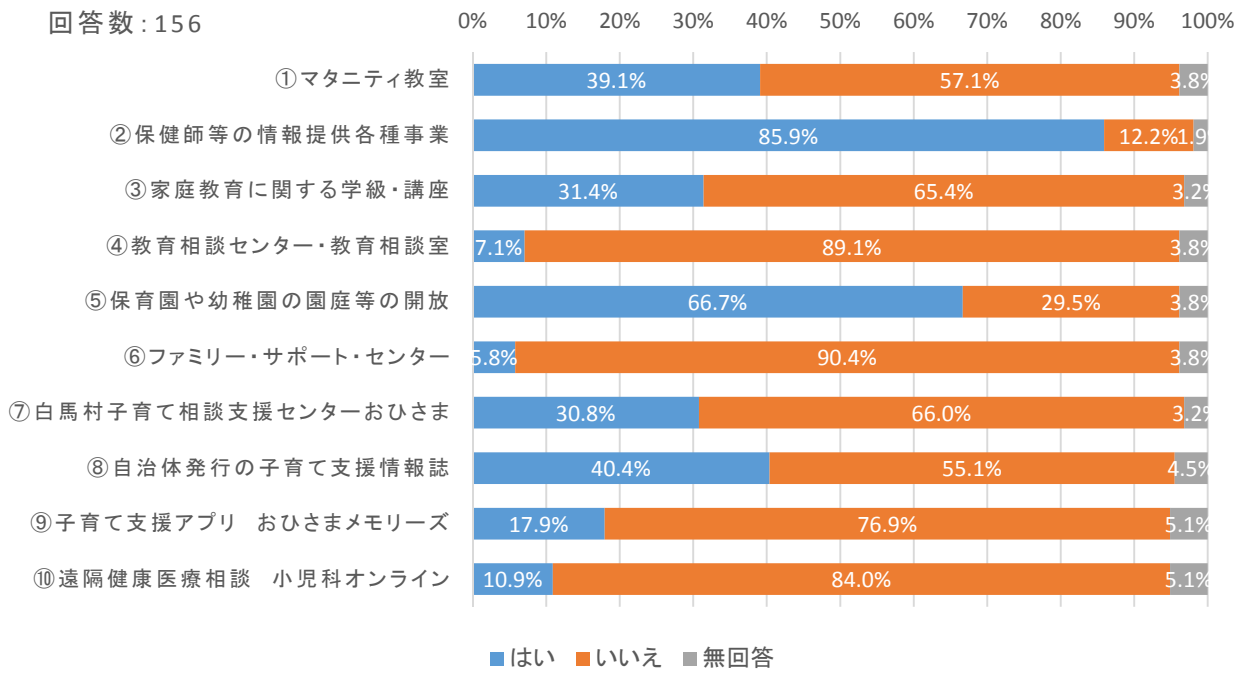
問 19　次の①から⑦の事業について

A　認知状況



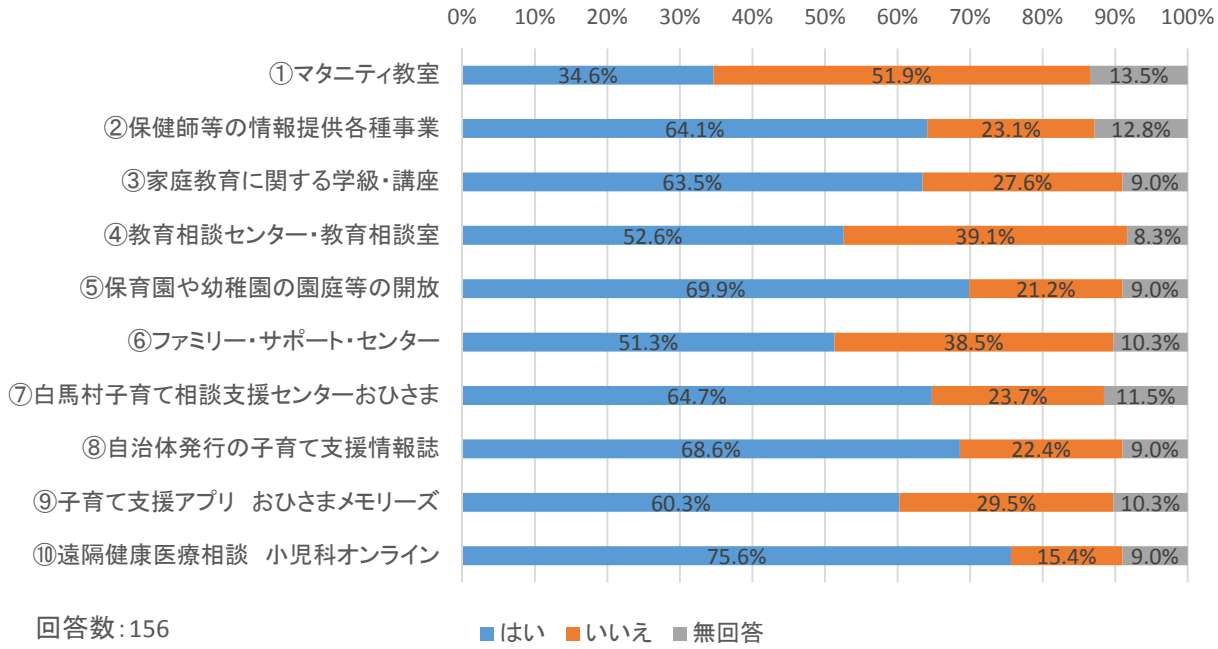
「相談支援センター　おひさま」並びに「保健師等の情報提供各種事業」が 90%以上と最も多い。次いで、「保育園や幼稚園の園庭等開放」が 84.6%、「マタニティ教室」が 79.5%となっている。

B　利用状況



「保健師等の情報提供各種事業」が最も多く 85.9%となっている。続いて、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が 66.7%、「自治体発行の子育て支援情報誌」が 40.4%となっている。

C　利用意向



「遠隔健康医療相談　小児科オンライン」が最も多く、75.6%となっている。次いで、60%台で、6 事業が続いている。

お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望に関する質問

問 20　土日祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望について

土曜日

区分	回答数	割合
必要はない	78	50.0%
ほぼ毎週利用したい	20	12.8%
月に1～2回利用したい	57	36.5%
無回答	0	0.6%
合計	155	100.0%

ほぼ毎日利用したい　何時から

区分	回答数	割合
7:00	1	5.0%
7:30	2	10.0%
8:00	3	15.0%
8:15	1	5.0%
8:20	1	5.0%
8:30	3	15.0%
8:40	1	5.0%
9:00	6	30.0%
15:00	1	5.0%
無回答	1	5.0%
合計	20	100.0%

ほぼ毎日利用したい　何時まで

区分	回答数	割合
15:00	1	5.0%
15:50	1	5.0%
16:00	3	15.0%
16:20	1	5.0%
16:30	5	25.0%
17:00	3	15.0%
18:00	2	10.0%
18:30	1	5.0%
19:00	1	5.0%
19:30	1	5.0%
無回答	1	5.0%
合計	20	100.0%

月に1～2回利用したい　何時から

区分	回答数	割合
7:30	3	5.3%
7:50	1	1.8%
8:00	14	24.6%
8:30	13	22.8%
9:00	17	29.8%
9:30	1	1.8%
10:00	3	5.3%
15:00	1	1.8%
無回答	4	7.0%
合計	57	100.0%

月に1～2回利用したい　何時まで

区分	回答数	割合
11:30	1	1.8%
12:00	2	3.5%
15:00	2	3.5%
15:30	2	3.5%
16:00	19	33.3%
16:30	4	7.0%
17:00	12	21.1%
17:30	4	7.0%
17:50	1	1.8%
18:00	4	7.0%
18:30	1	1.8%
19:00	1	1.8%
無回答	4	7.0%
合計	57	100.0%

（2）日曜・祝日

区分	回答数	割合
必要はない	104	68.0%
ほぼ毎週利用したい	8	5.2%
月に1～2回利用したい	41	26.8%
無回答	0	0.0%
合計	153	100.0%

ほぼ毎日利用したい　何時から

区分	回答数	割合
7:30	1	12.5%
8:00	2	25.0%
8:30	1	12.5%
9:00	3	37.5%
10:00	1	12.5%
合計	8	100.0%

ほぼ毎日利用したい　何時まで

区分	回答数	割合
15:00	1	12.5%
16:00	2	25.0%
16:30	1	12.5%
17:00	3	37.5%
18:00	1	12.5%
合計	8	100.0%

月に1～2回は利用したい　何時から

区分	回答数	割合
7:00	1	2.4%
7:30	4	9.8%
8:00	12	29.3%
8:20	1	2.4%
8:30	9	22.0%
8:40	1	2.4%
9:00	7	17.1%
9:30	1	2.4%
10:00	2	4.9%
無回答	3	7.3%
合計	41	100.0%

月に1～2回は利用したい　何時まで

区分	回答数	割合
12:00	3	7.3%
15:00	1	2.4%
15:30	2	4.9%
16:00	10	24.4%
16:20	1	2.4%
16:30	5	12.2%
17:00	4	9.8%
17:30	4	9.8%
18:00	4	9.8%
18:30	2	4.9%
19:00	1	2.4%
23:00	1	2.4%
無回答	3	7.3%
合計	41	100.0%

土曜日については、「ほぼ毎週利用したい」が 20 名（12.8%）で、利用時間は午前９時から午後４時３０分までの希望が一番多い。また、「月に１～２回は利用したい」が 57 名（36.5%）で、利用時間は９時から午後４時までの希望が一番多い。

日曜・祝日については、「ほぼ毎週利用したい」が 8 名（5.2%）で、利用時間は午前９時から午後 5 時までの希望が一番多い。また、「月に１～２回は利用したい」が 41 名（26.8%）で、利用時間は８時から午後４時までの希望が一番多い。

問 20-1　【問 20 で「月に 1～2 回は利用したい」と回答した方】のその理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
月に数回仕事が入るため	53	58.9%
平日に済ませられない用事をまとめて済ますため	16	17.8%
親族の介護や手伝いが必要なため	2	2.2%
息抜きのため	9	10.0%
その他	10	11.1%
合計	90	100.0%

53 人の回答より、「月に数回仕事が入るため」が 58.9%で一番多い。

問 21　【幼稚園を利用されている方】の夏休み・冬休みなど長期休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望について

区分	回答数	割合
必要はない	12	30.0%
ほぼ毎日利用したい	13	32.5%
週にに１～２回利用したい	15	37.5%
合計	40	100.0%

ほぼ毎日、または週に１～２回利用したい回答者の利用希望時間

何時から

区分	回答数	割合
7:30	2	7.1%
8:00	7	25.0%
8:30	7	25.0%
8:40	1	3.6%
9:00	9	32.1%
9:30	2	7.1%
合計	28	100.0%

何時まで

区分	回答数	割合
11:30	1	3.6%
15:30	4	14.3%
16:00	9	32.1%
16:20	1	3.6%
16:30	5	17.9%
17:00	3	10.7%
17:30	2	7.1%
18:00	2	7.1%
18:30	1	3.6%
合計	28	100.0%

「休み期間中、ほぼ毎日利用したい」が 32.5%、「休み期間中、週に数回利用したい」が 37.5%、利用希望時間は午前９時から午後４時までが多い。

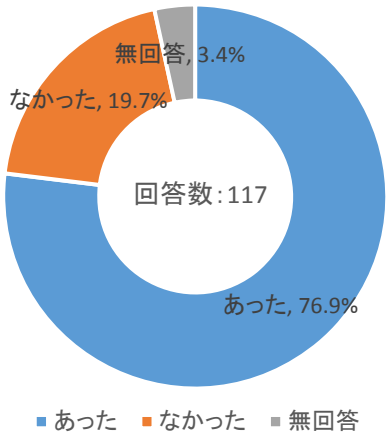
問 21-1　【問 21 で「休みの期間中、週に数日利用したい」と回答した方】のその理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
週に数回仕事がはいるため	11	68.8%
買い物等の用事をすますため	1	6.3%
親族の介護や手伝い	0	0.0%
息抜きのため	0	0.0%
その他	4	25.0%
合計	16	100.0%

11 名の回答で、「週に数回仕事が入るため」が 68.8%で一番多い。

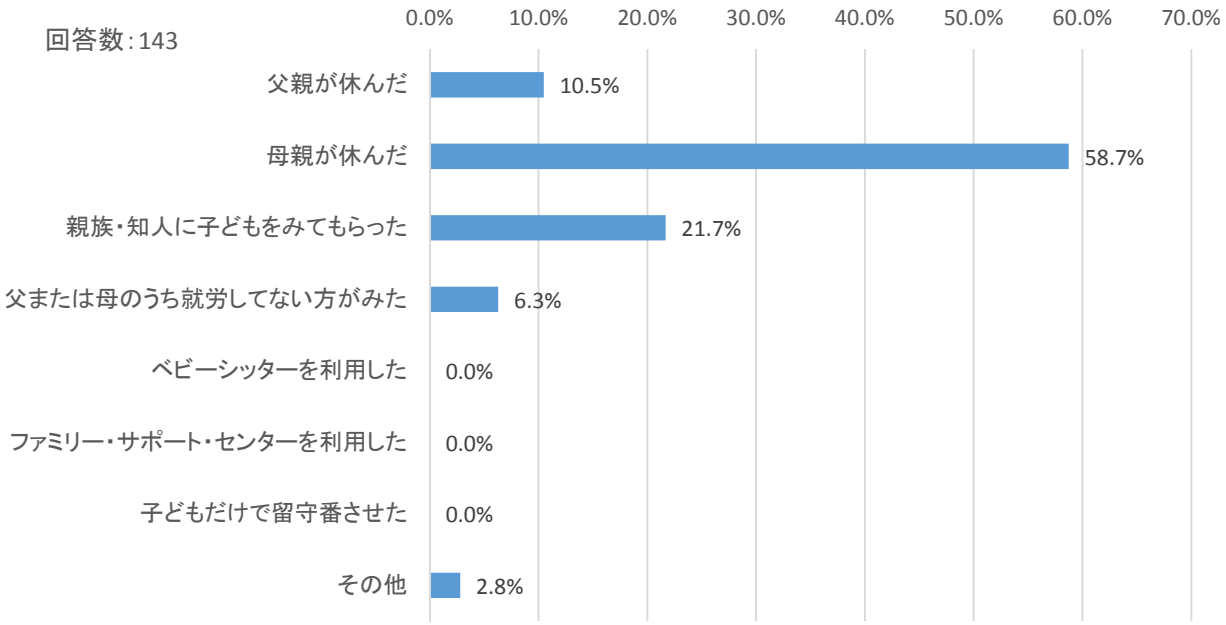
お子さんの病気の際の対応に関する質問（平日の教育・保育を利用する方のみ）

問 22　幼稚園・保育園等を利用している方で、この 1 年間でこどもの病気等で利用できなかったことがあったか

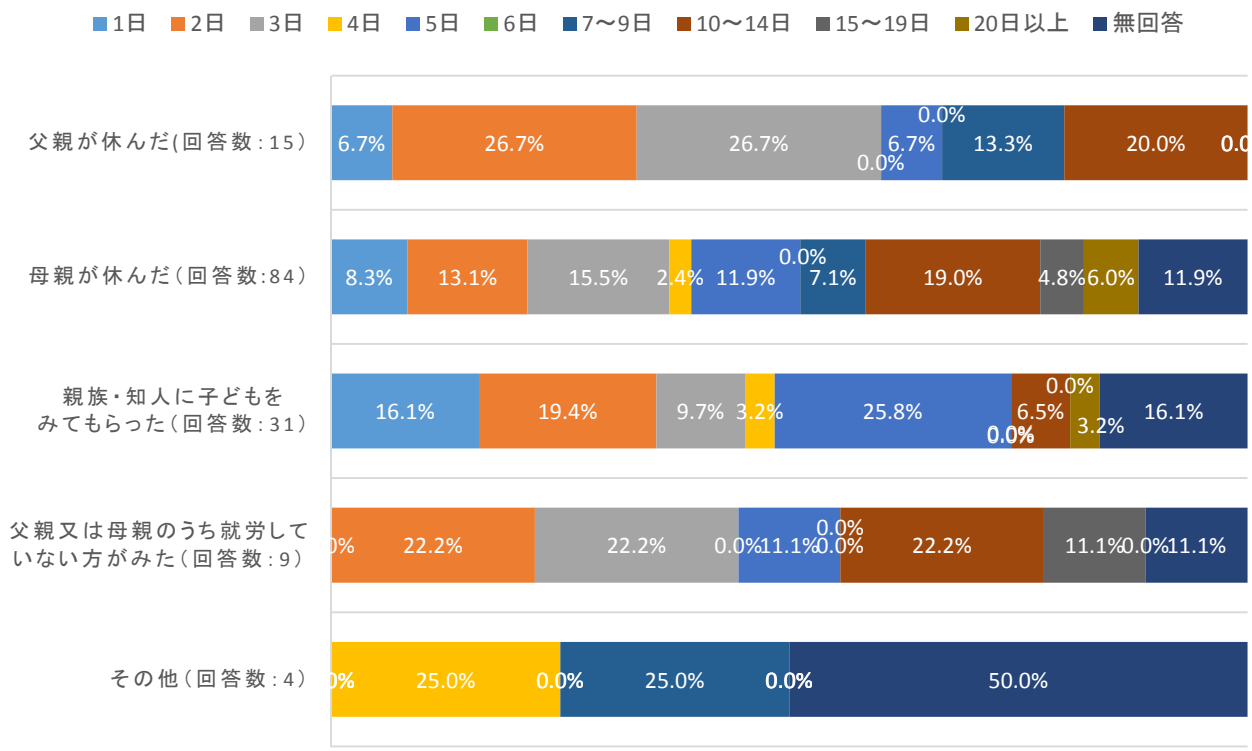


利用できなかったことがあったと回答した割合が 76.9%となった。

問 22-1　【問 22 で「あった」と回答した方】のこの 1 年間に行った対処方法について（重複回答）



◆ケース別の日数



86 名の回答で「母親が休んだ」が 58.7%で一番多い。また、母親が休んだ日数は、年間 10 日が 16.7%で一番多い。「父親が休んだ」「母親が休んだ」ともに回答した人（他区分含む）が 15 名いた。「母親が休んだ」に回答し「父親が休んだ」に回答しなかった人が 69 名いた。「親族知人に子どもを見てもらった」のみ回答した人が 3 名いた。その他の回答では、働きながらみたと回答が多かった。

問 22-1 で「ア．父親が休んだ」「イ．母親が休んだ」のいずれかに回答した方への質問

問 22-2　病児・病後児のための保育施設等の利用希望について

区分	回答数	割合
できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい	47	57.3%
利用したいと思わない	35	42.7%
合計	82	100.0%

利用したい日数

区分	回答数	割合	区分	回答数	割合
1 日	3	6.4%	10 日	3	6.4%
2 日	5	10.6%	12 日	1	2.1%
3 日	3	6.4%	15 日	2	4.3%
4 日	1	2.1%	20 日	1	2.1%
5 日	5	10.6%	無回答	21	44.7%
7 日	2	4.3%	合計	47	100.0%

「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」が 57.3%ある。利用したい日数は「無回答」が多く子どもの病気休暇の日数により変動すると思われる。

問 22-3　【問 22-2 で「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方】の望ましいとされる事業形態について（複数回答）

区分	回答数	割合
他の施設（例：幼稚園・保育所）に併設した施設で子どもを保育する事業	24	33.3%
小児科に併設した施設で子どもを保育する事業	38	52.8%
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業	8	11.1%
その他	2	2.8%
合計	72	100.0%

46 名の回答のうち「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 52.8%で一番多い。

問 22-4　【問 22-2 で「利用したいと思わない」と回答した方】の理由について（複数回答）

区分	回答数	割合
病児･病後児を他人に看てもらうのは不安	19	31.1%
地域の事業の質に不安がある	4	6.6%
地域の事業が利用の利便性がよくない	4	6.6%
利用料がかかる・高い	3	4.9%
利用料がわからない	4	6.6%
親が仕事を休んで対応する	23	37.7%
その他	4	6.6%
合計	61	100.0%

34 名の回答のうち「親が仕事を休んで対応する」が 37.7%で一番多い。

問 22-1 で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答した方への質問

問 22-5　「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思ったか

区分	回答数	割合
できれば仕事を休んで看たい	21	72.4%
休んで看ることは難しい	7	24.1%
無回答	1	3.4%
合計	29	100.0%

できれば仕事を休んでみたい休暇希望日数

区分	回答数	割合
１日	1	9.1%
２日	2	18.2%
３日	2	18.2%
４日	1	9.1%
５日	4	36.4%
１０日	1	9.1%
合計	11	100.0%

「できれば仕事を休んで看たい」と思った方が 72.4%となった。看たかった日数は５日が一番多い。

問 22-6　【問 22-5 で「休んで看ることは非常に難しい」と回答した方】のそう思われる理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
子供の看護を理由に休みが取れない	2	1.3%
自営業なので休めない	3	1.9%
休暇日数が足りないので休めない	6	3.8%
その他	3	1.9%
合計	159	100.0%

「休暇日数が足りないので休めない」が６名。「その他」では、休みにくい、仕事で代わりの方がいない等の意見があった。

お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用に関する質問

問 23　日中の定期的な保育や病気のため以外の、私用・親の通院・不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業について（重複回答）

区分	回答数	割合
一時預かり	30	18.9%
幼稚園の預かり保育	23	14.5%
ファミリー・サポート・センター	1	0.6%
夜間養護等事業	0	0.0%
ベビーシッター	1	0.6%
その他	2	1.3%
利用していない	102	64.2%
合計	159	100%

１年間の利用日数

一時預かり

区分	回答数	割合
1日	3	10.7%
2日	3	10.7%
3日	4	14.3%
5日	4	14.3%
10日	6	21.4%
12日	1	3.6%
15日	1	3.6%
20日	1	3.6%
25日	1	3.6%
40日	1	3.6%
50日	1	3.6%
60日	1	3.6%
100日	1	3.6%
合計	28	100.0%

幼稚園の預かり保育

区分	回答数	割合
2日	2	11.1%
3日	1	5.6%
5日	1	5.6%
7日	1	5.6%
10日	6	33.3%
20日	1	5.6%
25日	1	5.6%
50日	1	5.6%
100日	1	5.6%
120日	2	11.1%
150日	1	5.6%
合計	18	100.0%

ベビーシッター

区分	回答数	割合
5日	1	100%

ファミリー・サポート・センター

区分	回答数	割合
2日	1	100%

その他

区分	回答数	割合
6日	1	100%

159 人の回答があり、「一時預かり」は 18.9%で、利用日数は 10 日が一番多い。「幼稚園の預かり保育」は 14.5%で、利用日数は 10 日が一番多い。「利用していない」が 64.2%いる。

問 23-1　【問 23 で「利用してしない」と回答した方】のその理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
特に利用する必要がない	81	53.6%
利用したい事業が地域にない	4	2.6%
地域の事業の質に不安がある	3	2.0%
地域の事業の利便性が良くない	8	5.3%
利用料がかかる・高い	18	11.9%
利用料がわからない	10	6.6%
自分が事業の対象者になるのかどうかわからない	10	6.6%
事業の利用方法（手続き等）がわからない	14	9.3%
その他	3	2.0%
合計	151	100.0%

「特に利用する必要がない」が 53.6%で一番多い。次いで「利用料がかかる・高い」が 11.9%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 9.3%となっている。

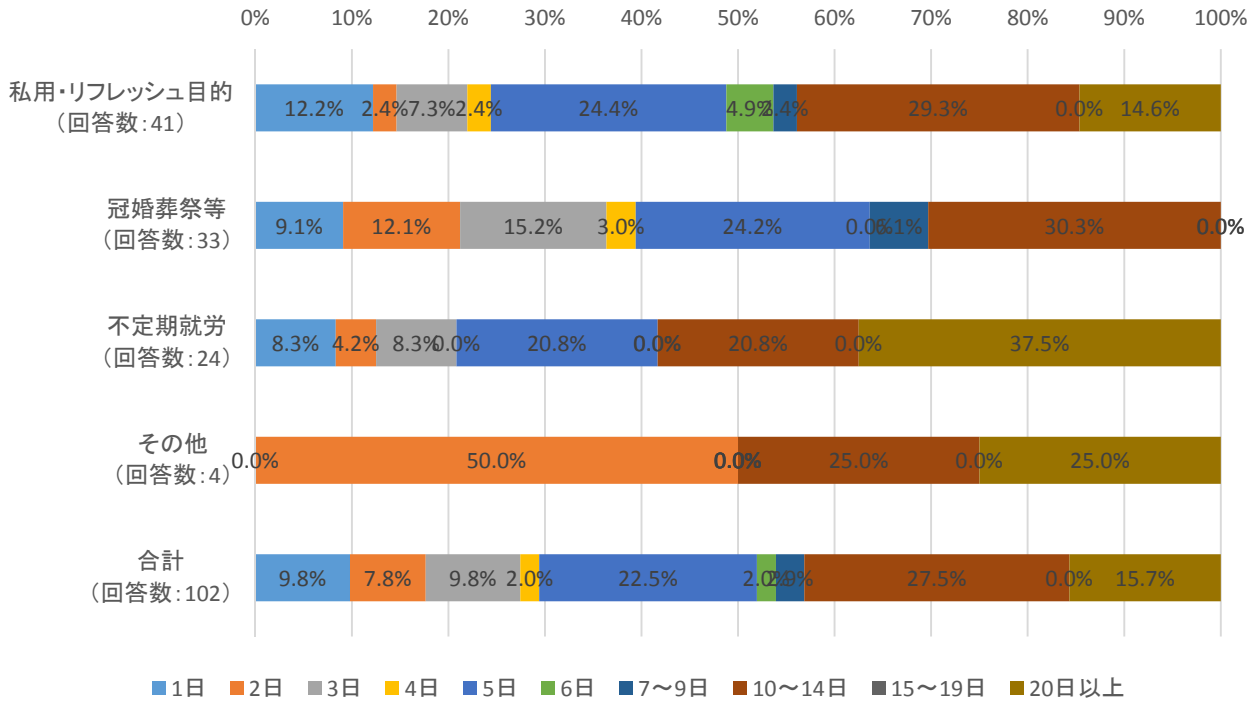
問 24　私用・親の通院・不定期の就労等の目的での事業利用の希望について

区分	回答数	割合
利用したい	74	47.4%
利用する必要がない	65	41.7%
無回答	17	10.9%
合計	156	100.0%

「利用したい」と回答した方のその目的（重複回答）

区分	回答数	割合
私用、リフレッシュ目的	40	39.2%
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等	35	34.3%
不定期の就労	22	21.6%
その他	5	4.9%
合計	102	100%

◆目的別の利用したい日数



事業を利用したいとの回答が 47.4%あった。そのうちの目的別で見ると、「私用、リフレッシュ目的」は 39.2%で利用したい日数は５日が一番多い。「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」は 34.3%で利用したい日数は５日が一番多い。「不定期の就労」は 21.6%で利用したい日数は 5 日、１０日が多い。また、「無回答」が 17 名いるが、そのうち 7 名は４歳以上児である。

問 24-1　【問 24「利用したい」と回答した方】のこどもを預ける場合の望ましいとする事業形態について（重複回答）

区分	回答数	割合
大規模施設で子どもを保育する事業	52	44.4%
小規模施設で子どもを保育する事業	49	41.9%
地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業	13	11.1%
その他	3	2.6%
合計	117	100.0%

幼稚園・保育園のような大規模施設での保育が望ましいとする割合が、地域子育て支援事業のような小規模施設での保育を若干上回っている。

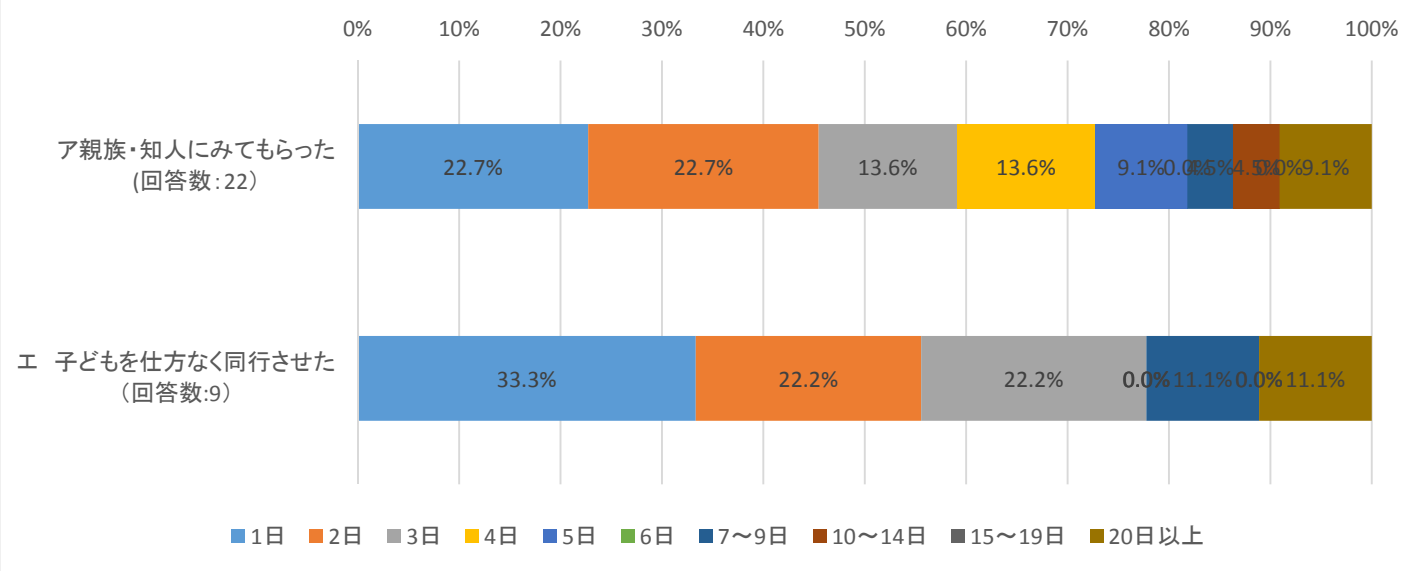
問 25　この１年間に、保護者の用事で子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったか

区分	回答数	割合
あった	28	17.9%
なかった	117	75.0%
無回答	11	7.1%
合計	156	100.0%

あった場合の対処方法について（重複回答）

区分	回答数	割合
親族・知人	22	66.7%
短期入所生活援助事業	0	0.0%
イ以外の保育事業	1	3.0%
仕方なく子どもを同行させた	9	27.3%
仕方なく子どもだけで留守番させた	0	0.0%
その他	1	3.0%
合計	33	100.0%

◆区分別の日数



「あった」との回答が 17.9%あり、そのうち「(同居者を含む)親類・知人にみてもらった」が 66.7%と一番多い。日数では 30 日という回答もあった。

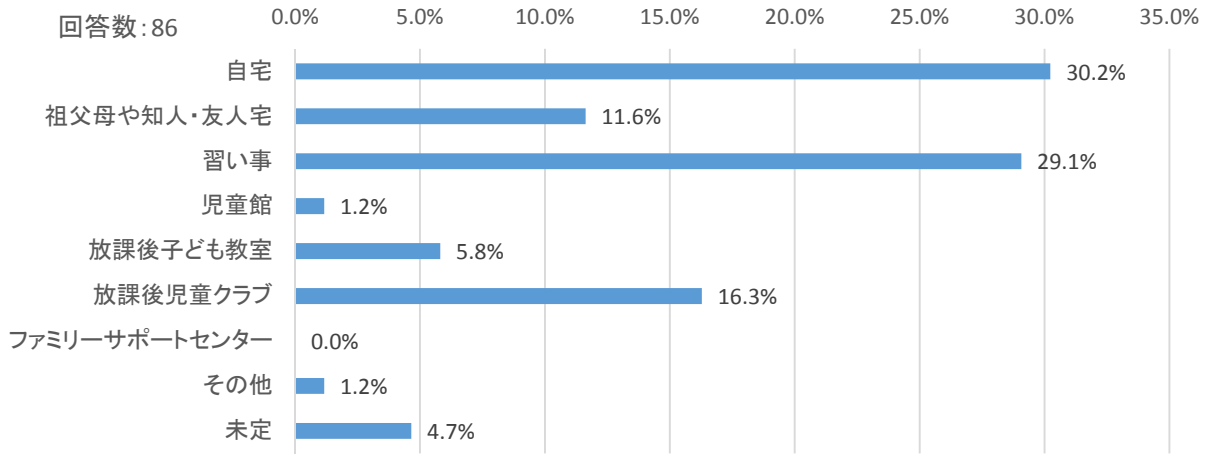
問 25-1　【問 25 で「ア・（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」と回答した方】のその困難度について

区分	回答数	割合
非常に困難	3	15.8%
どちらかというと困難	7	36.8%
特に困難ではない	9	47.4%
合計	19	100.0%

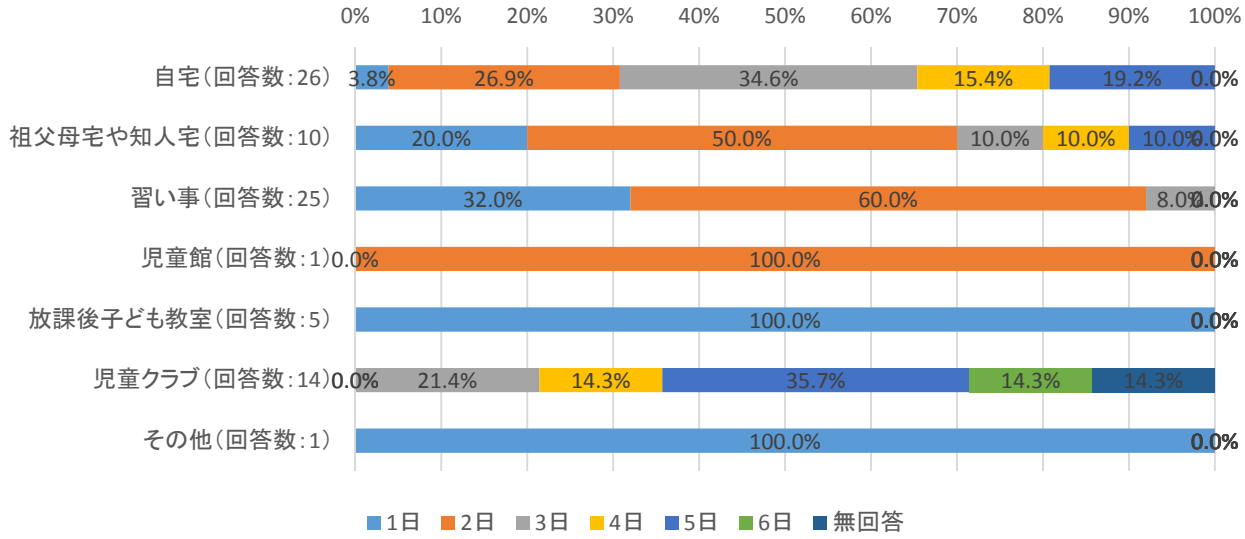
「非常に困難」、「どちらかというと困難」を合わせると 52.6%となった。

お子さんが５歳以上である方の小学校就学後の放課後の過ごし方に関する質問

問 26　小学校低学年時（1 年生から 3 年生）の、放課後に過ごさせたい場所について（重複回答）



◆区分別の過ごさせたい週当たりの日数

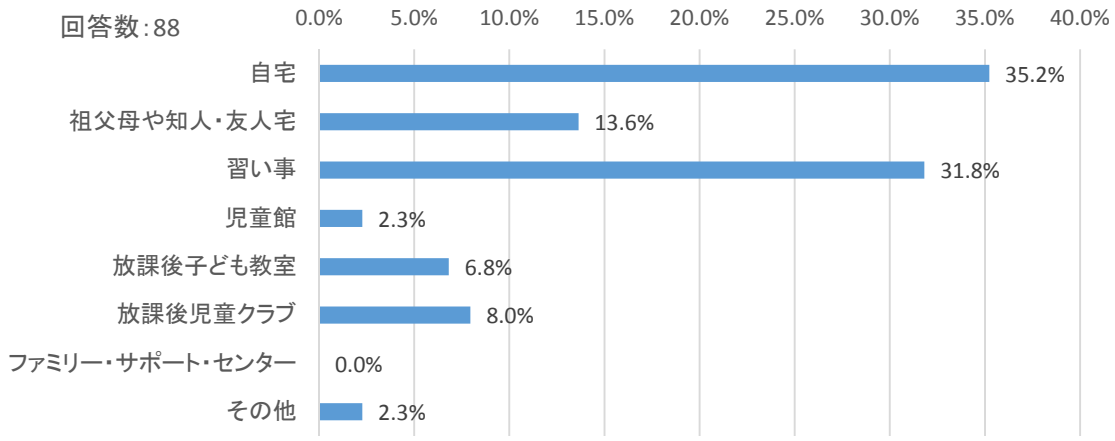


児童クラブを下校時間から何時まで利用したいか

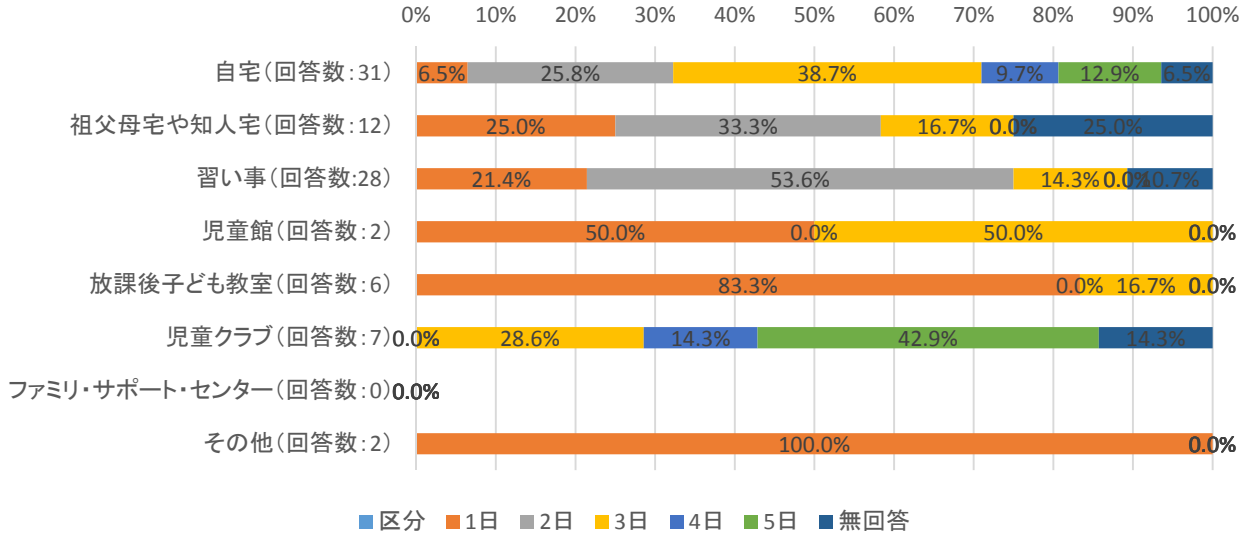
区分	回答数	割合	区分	回答数	割合
16:20	1	7.1%	17:30	4	28.6%
16:30	1	7.1%	18:00	3	21.4%
16:45	1	7.1%	18:30	2	14.3%
17:00	2	14.3%	合計	14	100.0%

子どもが５歳以上の方への質問だが５歳未満からの回答もあり、合わせて 36 名の回答があった。「自宅」が 30.2%で一番多く、「習い事」が 29.1%、「放課後児童クラブ（学童保育）」16.3%となっている。複数回答では「自宅」「習い事」と回答した人が 12 名で一番多い。過ごさせたい週当たりの日数では、「習い事」では１日から３日までを合わせた割合が 92%となり、「放課後児童クラブ（学童保育）」では５日が一番多く、また「下校時から何時まで」の質問では午後 4 時 20 分から午後６時３０分までの回答があった。

問 27　小学校高学年時（4 年生から 6 年生）の、放課後に過ごさせたい場所について（重複回答）



◆区分別の過ごさせたい週当たりの日数



児童クラブを下校時間から何時まで利用したいか

区分	回答数	割合
17:00	2	28.6%
17:30	1	14.3%
18:00	1	14.3%
18:30	2	28.6%
無回答	1	14.3%
合計	7	100.0%

問 26 同様 35 名の回答があった。「自宅」が 35.2%で、「習い事」が 31.8%、「放課後児童クラブ（学童保育）」8.0%となっている。複数回答では「自宅」「習い事」と回答した人が１１名で一番多い。過ごさせたい週当たりの日数では、「習い事」では２日が一番多く、「放課後児童クラブ（学童保育）」では５日が一番多く、また「下校時から何時まで」の質問では午後５時から午後６時３０分までの希望があった。

問 28　【問 26 または問 27 で、「放課後児童クラブ」と回答した方】の土曜日と日曜・祝日の利用希望について

土曜日

区分	回答数	割合
低学年	4	19.0%
高学年	4	19.0%
利用する必要はない	8	38.1%
無回答	5	23.8%
合計	21	100.0%

低学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
8：00	2	50%
8：30	1	25%
9：00	1	25%
合計	4	100%

何時まで

区分	回答数	割合
11：30	1	25%
13：00	1	25%
17：30	1	25%
18：00	1	25%
合計	4	100%

高学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
8：00	1	25%
8：30	2	50%
10：00	1	25%
合計	4	100%

何時まで

区分	回答数	割合
17：00	1	25%
18：00	3	75%
合計	4	100%

日曜日

区分	回答数	割合
低学年	3	14.3%
高学年	4	19.0%
利用する必要はない	9	42.9%
無回答	5	23.8%
合計	21	100.0%

低学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
8：00	1	33.3%
8：30	1	33.3%
9：00	1	33.3%
合計	3	100%

何時まで

区分	回答数	割合
13：00	1	33.3%
17：30	1	33.3%
18：30	1	33.3%
合計	3	100%

高学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
8：00	1	25%
8：30	1	25%
9：00	1	25%
10：00	1	25%
合計	4	100%

何時まで

区分	回答数	割合
16：30	1	25%
18：00	3	75%
合計	4	100%

「土曜日」では、低学年までは利用したいとの回答が 4 名あり、高学年になっても利用したいとの回答が 4 名あった。「日曜・祝日」では、低学年までは利用したいとの回答が 3 名あり、高学年になっても利用したいとの回答が 4 名あった。利用したい時間帯については、土曜日、日曜・祝日とも、低学年は朝から昼過ぎまでと夕方までとに回答が分かれたが、高学年では朝から夕方までの回答となった。

問 29　お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の放課後児童クラブの利用希望について

区分	回答数	割合
低学年	9	42.9%
高学年	6	28.6%
利用する必要はない	5	23.8%
無回答	1	4.8%
合計	21	100.0%

低学年

何時から

区分	回答数	割合
8：00	4	44.4%
8：30	4	44.4%
9：00	1	11.1%
合計	9	100%

何時まで

区分	回答数	割合
15：30	1	11.1%
16：00	3	33.3%
17：00	2	22.2%
17：30	1	11.1%
18：00	1	11.1%
18：30	1	11.1%
合計	3	100%

高学年の利用したい時間帯について

何時から

区分	回答数	割合
8：00	2	33.3%
8：30	2	33.3%
9：00	2	33.3%
合計	6	100%

何時まで

区分	回答数	割合
16：00	1	16.7%
17：00	2	33.3%
17：30	1	16.7%
18：00	2	33.3%
合計	6	100%

子どもが５歳以上の方への質問だが５歳未満からの回答もあり、合わせて 21 名の回答があった。低学年までは利用したいとの回答が 9 名あり、高学年になっても利用したいとの回答が 6 名あった。利用したい時間帯については、低学年並びに高学年ともに朝から夕方までの回答となった。

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度に関する質問

問 30　こどもが生まれた時の育児休業の取得について

母親

区分	回答数	割合
働いていなかった	68	43.9%
取得した（取得中）	45	29.0%
していない	42	27.1%
合計	155	100.0%

母親の取得していない理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	2	4.3%
仕事が忙しかった	3	6.5%
産休後、早く仕事に復帰したかった	2	4.3%
仕事に戻るのが難しそうだった	0	0.0%
昇給・昇格などが遅れそうだった	0	0.0%
収入減となり、経済的に苦しくなる	2	4.3%
保育園などに預けることができた	3	6.5%
配偶者が育児休業制度を利用した	0	0.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族に見てもらえるなど、制度利用する必要が無かった	0	0.0%
子育てや家事に専念するため退職した	11	23.9%
職場に育児休業制度がなかった	6	13.0%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	6	13.0%
育児休業を取得できることを知らなかった	1	2.2%
産前産後の休暇を取得できることを知らず退職した	0	0.0%
その他	10	21.7%
合計	46	100.0%

父親

区分	回答数	割合
働いていなかった	2	1.5%
取得した（取得中）	6	4.4%
していない	127	94.1%
合計	135	100.0%

父親の取得していない理由について（重複回答）

区分	回答数	割合
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	23	11.5%
仕事が忙しかった	35	17.5%
産休後、早く仕事に復帰したかった	0	0.0%
仕事に戻るのが難しそうだった	2	1.0%
昇給・昇格などが遅れそうだった	3	1.5%
収入減となり、経済的に苦しくなる	31	15.5%
保育園などに預けることができた	2	1.0%
配偶者が育児休業制度を利用した	21	10.5%
配偶者が無職、祖父母等の親族に見てもらえるなど、制度利用する必要が無かった	47	23.5%
子育てや家事に専念するため退職した	0	0.0%
職場に育児休業制度がなかった	20	10.0%
有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった	1	0.5%
育児休業を取得できることを知らなかった	4	2.0%
産前産後の休暇を取得できることを知らず退職した	0	0.0%
その他	11	5.5%
合計	200	100.0%

母親については、「取得した（取得中である）」が 45 名（29%）あり、「取得していない」が 42 名（27.1%）となった。取得していない理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」の回答が（23.9%）と多かった。

父親については、「取得した（取得中である）」が 6 名（4.4%）あり、「取得していない」が 127 名（94.1%）となった。取得していない理由は、「仕事が忙しかった」、「収入減となり、経済的に苦しくなる」、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」の回答が多かった。

なお、取得していない理由の「その他」についてはほとんどが自営業のためである。

問 30-1　育児休業給付（1 歳まで）、健康保険及び厚生年金保険の保険料免除（3 歳まで）の仕組みについて

区分	回答数	割合
育児休業給付、保険料免除いずれも知っていた	41	26.3%
育児休業のみ知っていた	42	26.9%
保険料免除のみ知っていた	0	0.0%
いずれも知らなかった	67	42.9%
無回答	6	3.8%
合計	156	100.0%

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が 42.9%で一番多い。育児休業給付を知っていたと回答した 41 名のうち、問 30 で「働いていなかった」の回答が 11 名、「取得した（取得中である）」の回答が 25 名、「取得していない」の回答が 5 名あった。

問 30-2　【問 30 で「取得した（取得中である）」と回答した方】の育児休業取得後の職場に復帰について

母親

区分	回答数	割合
職場復帰した	24	53.3%
現在育休中	10	22.2%
離職した	4	8.9%
無回答	7	15.6%
合計	45	100.0%

父親

区分	回答数	割合
職場復帰した	4	66.7%
現在育休中	0	0.0%
離職した	0	0.0%
無回答	2	33.3%
合計	6	100.0%

母親、父親とも「育児休業取得後、職場に復帰した」の回答が一番多い。

問 30-2 で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方への質問

問 30-3　実際に育児休業から職場復帰した時のお子さんの年齢とその希望について

母親

実際の取得期間

区分	回答数	割合
1 ヶ月	1	4.2%
5 ヶ月	1	4.2%
8 ヶ月	1	4.2%
9 ヶ月	1	4.2%
11 ヶ月	1	4.2%
1 歳	10	41.7%
1 歳 2 ヶ月	2	8.3%
1 歳 3 ヶ月	1	4.2%
1 歳 4 ヶ月	1	4.2%
1 歳 5 ヶ月	1	4.2%
1 歳 6 ヶ月	1	4.2%
2 歳 1 ヶ月	2	8.3%
4 歳	1	4.2%
合計	24	100.0%

希望

区分	回答数	割合
6 ヶ月	1	4.2%
8 ヶ月	1	4.2%
1 歳	5	20.8%
1 歳 2 ヶ月	1	4.2%
1 歳 6 ヶ月	3	12.5%
2 歳	2	8.3%
2 歳 2 ヶ月	1	4.2%
3 歳	7	29.2%
5 歳	1	4.2%
無回答	2	8.3%
合計	24	100.0%

父親

実際の取得期間

区分	回答数	割合
1 ヶ月	1	25.0%
5 ヶ月	1	25.0%
無回答	2	50.0%
合計	4	100.0%

希望

区分	回答数	割合
1 ヶ月	1	25.0%
1 歳	1	25.0%
無回答	2	50.0%
合計	4	100.0%

母親について、実際の取得期間は１歳（41.7%）と一番多く約半数近くを占めていた。４歳まで取得した方がいた。希望については、３歳まで（29.2%）希望する方が一番多い。また、１歳まで（20.8%）を希望す方も２割ほどいた。

問30-４　勤務先に育児のために３歳まで休暇取得できる制度があった場合の希望取得年齢について

母親

区分	回答数	割合
1ヶ月	1	3.2%
6ヶ月	1	3.2%
8ヶ月	1	3.2%
1歳	1	3.2%
1歳2ヶ月	1	3.2%
1歳6ヶ月	2	6.5%
2歳	3	9.7%
2歳2ヶ月	1	3.2%
2歳6ヶ月	1	3.2%
3歳	18	58.1%
6歳	1	3.2%
合計	31	100.0%

父親

区分	回答数	割合
1ヶ月	1	14.3%
1歳	3	42.9%
2歳	2	28.6%
3歳	1	14.3%
合計	7	100.0%

母親については３歳までの希望が58.1%となったが、父親では１歳までの希望が42.9%を占めた。

問30-3で実際の復帰と希望が異なる方への質問

問30-5　希望の時期に復帰しなかった理由について

（1）「希望」より早く復帰した方（重複回答）

母親

区分	回答数	割合
希望する保育園に入るため	0	0.0%
配偶者や家族の希望	3	11.5%
経済的な理由	11	42.3%
人事異動や業務の節目	8	30.8%
その他	4	15.4%
合計	26	100.0%

父親

区分	回答数	割合
希望する保育園に入るため	0	0.0%
配偶者や家族の希望	0	0.0%
経済的な理由	0	0.0%
人事異動や業務の節目	1	50.0%
その他	1	50.0%
合計	2	100.0%

（2）「希望」より遅く復帰した方（重複回答）

母親

区分	回答数	割合
希望する保育園に入れなかったため	1	100.0%
自分や子どもの体調が思わしくなかったため	0	0.0%
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
職場の受入れ態勢が整っていないため	0	0.0%
子どもを見てくれる人がいなかったため	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	1	100.0%

父親

区分	回答数	割合
希望する保育園に入れなかったため	0	0.0%
自分や子どもの体調が思わしくなかったため	0	0.0%
配偶者や家族の希望があったため	0	0.0%
職場の受入れ態勢が整っていないため	0	0.0%
子どもを見てくれる人がいなかったため	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	0	0.0%

「希望」より早く復帰した方については、「経済的な希望で早く復帰する必要があった」が一番多かった。

問 30-2 で「育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方への質問

問 30-6　育児休業からの職場復帰時の短時間勤務制度の利用について

母親

区分	回答数	割合
利用する必要が無かった	1	4.2%
利用した	12	50.0%
利用したかったが、利用しなかった	6	25.0%
無回答	5	20.8%
合計	24	100.0%

区分	回答数	割合
利用する必要が無かった	2	50.0%
利用した	0	0.0%
利用したかったが、利用しなかった	2	50.0%
合計	4	100.0%

母親で、「利用した」と回答した方が 50.0%あった。

問 30-7 で「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方への質問

問 30-8　短時間勤務制度を利用しなかった(利用できなかった)理由について（重複回答）

母親

区分	回答数	割合
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	1	7.7%
仕事が忙しかった	4	30.8%
短時間勤務にすると給与が減額される	4	30.8%
短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる	1	7.7%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族に見てもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	0	0.0%
子育てや家事に専念するために退職した	0	0.0%
職場に短時間勤務制度がなかった	1	7.7%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	0	0.0%
その他	2	15.4%
合計	13	100.0%

父親

区分	回答数	割合
職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった	0	0.0%
仕事が忙しかった	2	100.0%
短時間勤務にすると給与が減額される	0	0.0%
短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる	0	0.0%
配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	0	0.0%
配偶者が無職、祖父母等の親族に見てもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた	0	0.0%
子育てや家事に専念するために退職した	0	0.0%
職場に短時間勤務制度がなかった	0	0.0%
短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	0	0.0%
その他	0	0.0%
合計	2	100.0%

回答数が少なく判断できない。

問 30-2 で「現在も育児休業中である」と回答した方への質問

問 30-8　こどもが１歳になったときに必ず利用できる事業がある場合の育児休業の取得について

母親

区分	回答数	割合
１歳になるまで育休取得したい	6	60.0%
１歳になる前に復帰したい	1	10.0%
無回答	3	30.0%
合計	10	100.0%

父親

区分	回答数	割合
１歳になるまで育休取得したい	0	0.0%
１歳になる前に復帰したい	0	0.0%
合計	0	0.0%

母親の 60%が「１歳になるまで育児休業を取得したい」と回答した。

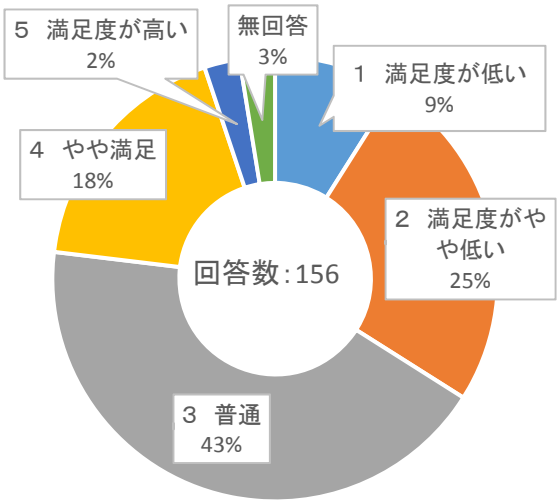
問 31　子育て情報を主に誰（どこ）から取得していますか。

区分	回答数	割合
配偶者	17	3.9%
子どもの祖父祖母その他親族	38	8.8%
友人・知人	108	25.0%
近所の人、職場の人	19	4.4%
村の広報、パンフレット	52	12.0%
子育て支援アプリ　おひさま	9	2.1%
テレビやラジオ、育児書・新聞、インターネット	60	13.9%
民間の相談サービス	1	0.2%
民生委員・児童委員	1	0.2%
子育て仲間、育児サークル	19	4.4%
保育園・幼稚園	64	14.8%
支援ルーム	26	6.0%
子育て支援センター	2	0.5%
村の相談窓口・保健センター等	4	0.9%
病院・診療所	3	0.7%
その他	1	0.2%
そのような人はいない	0	0.0%
無回答	8	1.9%
合計	432	100.0%

問 32　どのように子育て情報を知りたいと考えていますか（主なもの３つ）

区分	回答数	割合
子育て支援施設の受入れに関する情報	32	7.2%
乳幼児健診、予防接種等に関する情報	22	5.0%
病院・休日当番医に関する情報	39	8.8%
子どもに関する手当情報	52	11.7%
子育て支援センター・支援ルーム等で行われるイベント情報	38	8.6%
小学校に関する情報	31	7.0%
放課後児童クラブに関する情報	22	5.0%
一時預かり、ファミサポに関する情報	27	6.1%
病児・病後児保育に関する情報	18	4.1%
障がい児保育に関する情報	12	2.7%
健康・発達についての情報	56	12.6%
しつけ・成長等子育てに関する情報	63	14.2%
食事・栄養に関する情報	29	6.5%
その他	0	0.0%
無回答	3	0.7%
合計	444	100.0%

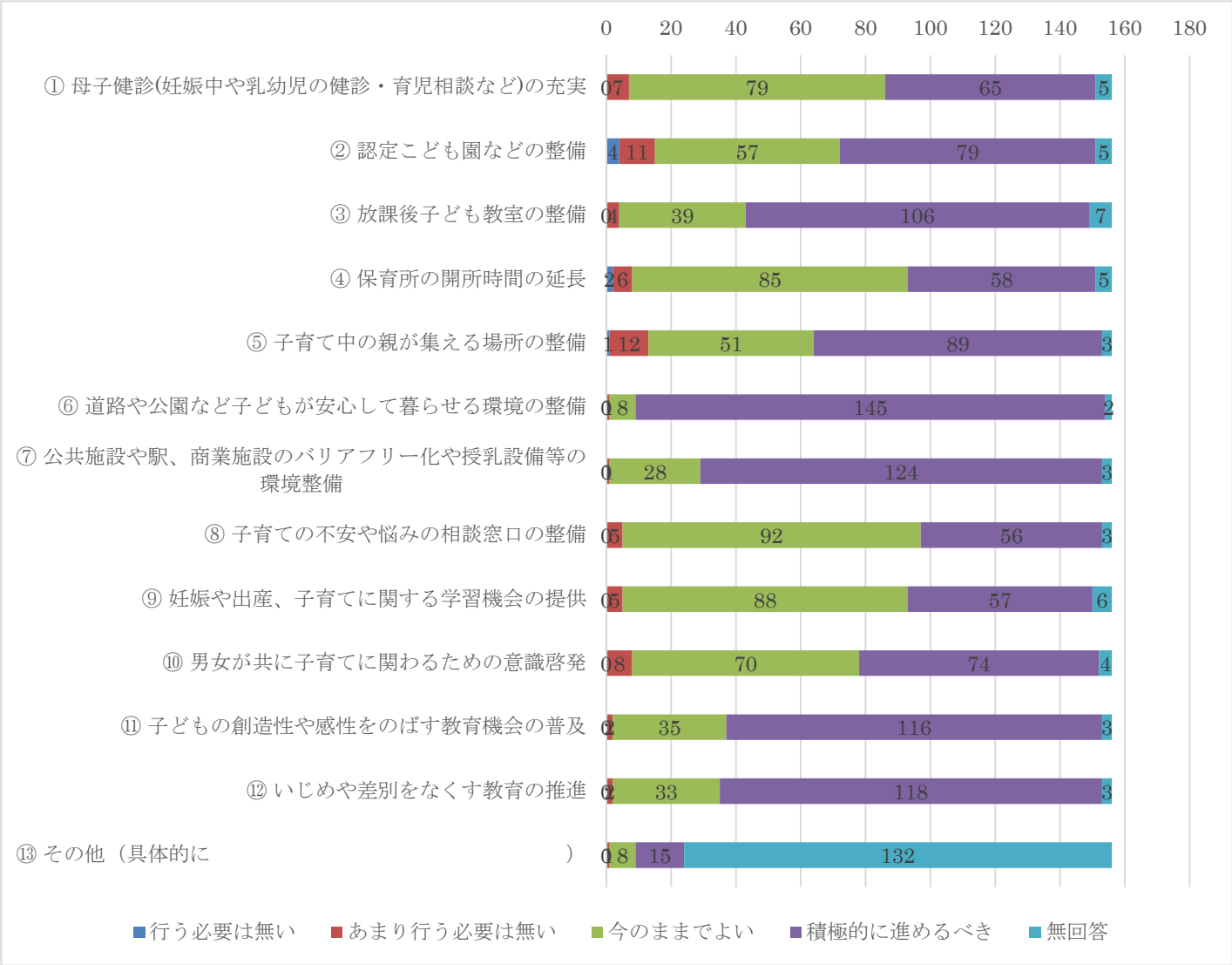
問 33　白馬村における子育ての環境や支援への満足度について（満足度が低い　１⇔５　満足度が高い）



「どちらでもない」が４３％と最も多く、次いで、「満足がやや低い」が２５％、「やや満足」が１８％となっている。

平均すると「２．８」となりやや満足度は低い傾向にある。

問 34　子育て環境整備をするために、国や自治体への期待度



⑬その他の内容

- 幼稚園のニーズを満たし幼稚園入園数を増やすことで、保育園未満児入所数を増やす（具体的には、給食の保育園からの提供など）
- 図書館や学びの施設の整備
- 若年からの性教育、妊娠、出産、不妊などに係る啓発
- 白馬村で子育てしたくなる環境づくり
- みなし寡婦控除
- 移送サービス・送迎サービス
- 父親が育児参加できる環境を作って欲しい
- 通園・通学バスを出してほしい
- 障がい児療育・預かり場所の充実
- 未満児保育の保育園での受け入れ回答数の増加
- 保育園と小学校、中学校、高校の送迎バス。中高は冬季の期間だけでもいいので考えてほしいです
- 出産祝金が白馬村だけない、残念。なので、白馬以外に住む事を考えた。

問 35　白馬村図書館等複合施設に関するご意見について（自由回答）

- 雨の時に遊べる施設に（楽しめる）施設になってくれるとありがたい。
- いつでも行きたくなるような明るく心地の良い空間と、国内外の本を多数入れて。英語の書物を多数期待したい。
- 赤ちゃんや小さな子供も一緒に通えるスペースにしてほしい。
- 小学生の子どもが一時的に遊べる場所が欲しい。（親を待つ場所として）（にぎやかにしてもよい場所）現在放課後白馬村の図書館に子ども達（小学生）が集まっているのですが、本来本を借りに来た者にはとてもうるさくゲームをしていたりして少し周りに迷惑をかけているように見える。ただ行く場所（親を待つ場所）がないので、子ども達も大変だと思う。
- 有識者とよく言うが、実際利用するのはそこに住む人たちだから、そこの意見をうまく取りいれてお金をかけて作るのだから、他の自治体のものをみたりしてより良い図書館を作ってほしい。
- 色々な施設やサービスを複合するのもいいが、図書館として本の所蔵を充実させてほしい。新書などの取りいれ、種類など。
- 図書館をよく利用しています。しかし小学生が夕方さわいでいたり、幼児が時間をつぶせるスペース、本のラインナップが少々悪いと感じる。複合施設としては公園、飲食できる読書スペース小上がりの読書スペースが一直線になって、開放的な図書館が地元にあるので、そういった所があると良いと思う。
- 公園があると嬉しい。
- 白馬は子供が多いのでいち早くそのような施設を作るべきだと思う。冬はどこも忙しい村なので、特に冬は村的に子供を預ける場所などを早く検討してほしい。
- 北小の子どもは利用しやすい気がする。どこに作るか知らないが北も南もほど良く利用しやすい所に建設してほしいと思う。
- 現図書館は子供用図書スペースが奥にあり司書の目が常に行き届いてない感じがする。司書カウンター前をこども広場にして子どもたちが騒げば注意をしたり注意だけでなく子供たちと良いコミュニケーションが取れる場所にしてほしい。そして白馬の子達が図書館を通して育って行けたら嬉しい。
- 放課後児童クラブとの併設。子供が安全に集える場所。地域交流や多文化交流が出来る事によって知識を高められたら良いと思う。
- 冬や雨の日でも気軽に無料でいつでもだれでも利用できる施設があったら良い。小谷村図書館のように白馬村も充実させてほしい。
- 図書館を利用する人はそんなにいないと思うので他の施設を作って欲しい。
- 幼児から高齢者まで利用でき人と人との繋がりが出来る場所とかもあればよい。本だけの利用はもう古い。
- 乳幼児でも集いやすく母親もゆっくりくつろげるように畳でお茶したり、ハイハイさせてあげられる場所を。授乳場所も多く、軽食も買いたい。
- 子育て支援センター、図書館、キッズスペース、相談コーナー等、子育て中のファミリー層に利用しやすい施設を希望する。ファミリー以外でもワークスペース、ラウンジスペースが併設されると利用者が増え、活気ある施設になると思う。ただ、キッズ連れの方の駐車スペース（エリア）が近くにあると助かる。
- 子ども（乳児含む）のプレイルームみたいな場所も作って欲しい。絵本や小さい子も読めるような

本を充実させてほしい。
- 屋内で子供が遊べる施設や託児所を併設して欲しい。
- 室内で遊べる場所、食事スペース、図書館では学習スペース。支援ルームでは年齢ごと曜日が定められていたが、全員がいつでも行ける設備にしてほしかった。
- 小さい子もゆっくり本を楽しめるスペースがあると嬉しい。
- 村内、遊具のある児童公園も充実しておらず、公園も欲しいと思うので、図書館の横に出来れば良いと思っている。松川村の様に。雨の日に遊ぶところがなく困っているので。村外・県外のお客様も利用できるくらいの大型児童館があると良いと思う。少年科学センターでも。有料で良い。習い事できるカルチャーセンター。
- 小谷村の図書館のように靴を脱いで上がるスタイルなら赤ちゃんが裸足でハイハイしたりよちよち歩きできて良いと思う。（子供のスペースだけでも）
- 英語の本や児童書は子供～大人まで勉強になるので置いて欲しい。
- 小さい子供のおもちゃは大きい物が多かったり、一時的に使用する物が多いので０～３歳児用のおもちゃのレンタルサービスを作っていただけると助かる保護者が沢山いるのではないかと思う。フリマに出すにも限りがあるし、手間もかかる。使わなくなった物、もらい手がない物は最終ごみになってしまうのも悲しい。
- 放課後に児童が集う場所にしてほしい。そこからバスが村内を周るシステムがあったらどんな世代の人も利用しやすくなると思う。
- 授乳やオムツ替えスペース、温かく明るい雰囲気、子連れでも気軽に利用できると嬉しい。白馬村内で雨の日遊ぶ場所に困るののでのびのびと動ける屋内施設、公園が併設されると嬉しい。
- 雨天でも小さな子供があそべる施設にしてほしい。親水公園（浅くあぶなくない水場）がほしい。
- 小布施のハイウェイオアシスの様なスペースになると良いと思う。子供たち向けと言う観点では図書館に遊べる屋内スペースが併設されると嬉しい。逆に複合施設でも観光客向けの商業施設が併設されると安全面の不安が生じるし、都市計画的観点からも動線がゴチャゴチャになるので良いと思えない。図書館に関しては純粋に地元の使い易さ、憩いの場を意図して作ってもらえるとありがたいし、すっきり収まるのではないかと思う。
- 開館時間や休みをＨＰですぐわかるように表示してほしい。利用の仕方、利用のしやすさ（駐車場や授乳室、多目的トイレ）も必要。
- 放課後に集えるような場所になるのであれば、南小からのバスなど行かれる手段をつくって欲しい。
- 兄弟など小さな子供をつれて行けるような図書館が良い。（オムツを替えられるベッドやキッズルームのような寝転んでいられる場所）。自主学習できるような机と椅子があると良い。
- 白馬村図書館は今の場所になるのか？神城の子供たちは自由に一人で行くのが難しい。
- 図書館内に子供が靴を脱いで座って本を読めるスペースがあったらいいと思う。きっと声を出してしまうので、自習スペース等とは離れていたらうれしい。
- 小さい子供が安全、安心して遊べる公園が必要。グリーンスポーツでは遊具がレベル高すぎ！！
- 図書館が出来る事は噂で知っているが、どこに出来るのか、いつできるのかよくわからないので、出来た時は皆がわかるようにしてほしい。楽しみにしている。
- 子供と親が楽しく過ごせる場所があればいいなと思う。例えば支援ルームのように年齢によって行ける曜日といけない曜日があるのではなく、いつでも遊ばせに行ける場所。子供があそぶのに安全で親も安心して見ていられる遊具（大きなボールプールや遊べる広場は全部マット床にして転んで

も危なくない）が欲しい。屋外も良いが室内の遊び場所が欲しい。

- 大人も楽しめる蔵書数の多い図書館を希望する。小学生だけでなく、高校生も利用できるような自習室がほしい。
- 児童館のような室内でいつでも利用でき年齢の離れた兄弟でも遊べるような施設が理想的。私の知っている児童館は１階が図書館、２階が自由遊びの場となっており、０～３歳くらいのキッズルーム、広場には電車（Ｎゲージ）の模型が走り、小さめの体育館では小学生や４，５歳の子供たちがボール遊びやバスケをしたり、勉強する部屋で宿題をしたり、飲食ルームでおやつを食べたり。子供だけで来る子も多いので、入り口で名前を書く事になっている。
- 白馬村は小さな子が室内で遊べる施設がないので作って欲しい。観光客も利用できるような図書館、室内施設があっても良いと思う。
- 大きな複合施設をつくるのであれば、小さい子も遊べる公園（水遊び、芝生、遊具）があるとうれしい。図書館も小さい子から大人までゆっくりできるスペース、本の種類があれば良い。コーヒーを飲みながら本を読んだり、村の人達が集まって、サークル活動ができたりゆっくりできる場所ができるとありがたい。
- 親が本を選んでいる間の一時的（短時間）な託児サービス。
- 全天候型の遊び場を併設してほしい。白馬も夏は暑くなってきたので安全な水遊びもできる広場もあるとうれしい。大型のアスレチックが１つでもあれば、村内の子ども達だけでなく白馬に訪れたファミリーの方々にも遊び場の提供が出来て良いと思う。
- 子供の為に作って欲しい。
- せっかくなので、もっと開放的な環境を作って欲しい。例えば大型遊具設置してある子供の交流場所。公園みたいに２４時間誰でも気軽に入れる。本以外にも多様化なメディアの貸出（映画・アニメなど)、目の不自由な方向け録音図書、点字図書、宅配サービス等充実した項目ができたら絶対いい。次は行政図書館の必要性があると思う。幅広く読書のメリットを感じさせる。最後に税金の無駄遣いを辞めて欲しい。新たに施設を作る前にまず再生できる空き施設や廃校や現有施設の増設などの方法も検討して計画立てた方が現実的だと思う。
- 図書館の隣に遊具のある公園が欲しい。飲食できるスペースが欲しい。
- 授乳スペース、おむつ交換台を設置してほしい。乳幼児が安全に快適にすごせる環境であってほしい。
- 本の量を増やす事はもちろん、子ども用のスペースやイベントをたくさんやってほしい。飲食できるスペースがあれば１日いられるようなところになる。受験生も勉強できるように机ももっとあったらいいと思う。大きな図書館も見たことあるが、大町図書館は大きくはないけどいろんなイベント、サービスをやっていてすごいなと思う。近くに公園もあってなおいい。
- 未就学児が安心して遊べる遊具もたくさんある公園が欲しい。白馬村には公園や遊具が少なく特に小さい子があそびやすい遊具がないと思う。
- 利用しやすい場所を望む。商業施設との複合施設とする意味はないと思う。それより図書館の内容を充実させてほしい。無駄な他の利益との組み合わせだけはやめてほしい。子育て支援センターと公園、図書館を組み合わせて欲しい。
- 受験勉強等ができる静かで快適な空間。視聴覚ブース。放課後を利用した小・中学生向けの寺小屋（低価格の塾の様な物。宿題のフォローや工作や知育ゲームの出来る場所）
- 子供たちが休日集える場所として期待している。観光業へ目が向きがちな白馬村ですが、地元の子

供たちがおもいっきり遊べる公園、いろいろ学べることができる図書館が出来る事を待ち望んでいる。

- 都会のように児童館（子どもイベント、異年齢の交流）がなく、支援ルームだけど同じ学年の子としか出会えないのでぜひ児童館のような役割をもつ図書館にしてほしい。
- 子どもが少しくらいしゃべりしても安心なスペースがあるとよい。
- 大人も利用しやすい広さ、子どもと分けられた落ち着いたスペースがほし。
- 外に遊具等を置いてほしい。雨でも遊べるスペースがほしい。誰でも気軽に行けるような施設にしてほしい。
- 英語の児童書の数を増やしてほしい。
- 学童、児童館、公園など放課後に子ども達があそべる場所を作って欲しい。リタリコ（発達障がい児のための）のような学習教室やものづくりができる場所（教室）を作ってもらいたい。
- 幼児が安心して遊び学べる場所となって欲しい。
- 乳児から小学生までが雨の日でも遊べるような施設が併設されると助かる。ほとんどの利用者が車利用なので駐車場の整備をしっかりしてほしい。
- 幼い子供たちが多少動き回りつつ本が読めるようなスペースがあるとうれしい。
- 本を沢山入れて欲しい。「～レンジャー」「セーラームーン」などのほんではなく、もっと質の良い本を入れて欲しい。小谷村の選書を参考にしてもらいたい。飲食できる場や学習室が欲しい。
- できれば学校の近くに建設し、学習室なども設けて自主学習の場にもなるようにしてほしい。友だちの家以外に自由に子供たちが集える場所になればいいと思う。
- 図書館、温泉、ＣＡＦＥ、子供の遊べるインドア施設、大人が雨天でも体をうごかせるようなクライミングジムや、スカッシュなどのエリアなど海外のどの山岳リゾートにも必ずあるような複合型施設があると良いと思う。白馬村は雨に弱すぎる（やることが何もなくなる）
- 有識者会議にまともな建築家の方を入れて欲しい。村民の心の拠り所となるような図書館にしてほしい。視野が広くなるように幅広い知識の得られる図書館であってほしい。セミナーやイベントを沢山企画してほしい。
- 休館日をなくす。(職員は交代で休日を取得。年末年始及び施設の点検、本の入れ替え等には休館日とする)
- 他の有料施設とかぶらないようにする。(マンガ喫茶、カフェ)・あくまでも図書館であること。
- 小さな子が遊べるスペースがあれば（防音、開放的な）親も図書館を利用しやすいのでは。
- 図書館と隣接して公園と児童館又は学童施設があると良いと思う。
- 図書館と公園が隣同士であり、子供が休みの日に外、中両方の施設で楽しめるようにしてほしい。また、冬になると子どもを連れて出かけられる場所が減るので０～３歳児を連れて気軽に遊びに行ける場所づくりをしてほしい。
- 自然はあまり壊すことなく自然に囲まれた施設にしてほしい。普段から子供が集える場所にしてほしい。小さい子供をつれても行けるようにオムツ替え場所トイレの整備。授乳場所、くつをぬいで上がれる場所が欲しい。絵本を増やして欲しい。
- 子供がゆったり本を読めるスペース、食事もできるスペース、室内で遊べるスペース（すべり台とか簡単な遊び場）
- 食事のできる場所、おしゃべりの出来る場所、小学生でも過ごせる場所。
- 図書の充実、スタディスペース（様々な用途で使用可能な)、イートスペース、キッズスペース、ヨ

ガなどのスペース、ソファーなどでゆっくり本を読んだりクオリティタイムを過ごせるような場所。
- 本の種類が増えたら良い。
- 映画が見られるシアタールーム、遊べる部屋（白馬は冬遊べる場所が少ない）中庭には遊具、アートが並ぶ展示スペース。
- 外に遊具がある公園。
- キッズスペースの確保。・飲食スペース。
- 学習室・閲覧席と、絵本（児童図書）スペースを離す。

問 36　教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関するご意見について（自由回答）

《公園・憩いの場について》

- 公園の遊具が他の地域より古かったり、小さい子が集まるような公園がないので、そういった場所があると嬉しい。
- 遊具や公園、室内施設（子どもも高齢の人も集まるような）があったら良い。長野市にわざわざ出かけていく必要があるので大変。長野市のような公園やいつでも子どもが遊べる環境がほしい。（支援ルームは曜日が限られているから）
- 今ものびのびと成長できる環境でとても良いと思うが、公園的な遊具もあるような場所があればもっと良いと思う。
- 公園や大きな図書館など自由に利用できる施設が欲しい。（親が見守れるカフェ等併設して）
- 冬や雨の日に身体を使って遊べる遊び場が欲しい。
- 自然は沢山あれど公園がない。小さい子供を連れて安全安心して遊ばせられる場所が近くにほしい。
- 屋内外どちらも子供向けの遊具のある施設がもの足りなく感じる。
- 気軽に行ける公園がないので小さい子から小学生まで遊べる公園が欲しい。
- 白馬村にはとっても良い場所がたくさんある。例えば“石の公園”“グリーンスポーツ”“みみずくの森”など。村の持ちものでなかったり、会社のものであるなど色々問題はあると思うが、新しく施設を作らなくても今ある公園や広場にお金を使っていっても（その広場をあそび場所、親と子供が１日いても飽きないような場所を作って行っても）良いのではと思う。
- 白馬村は安全な公園がなさすぎる。公園を求め大町や松川、長野市に出かける。おかしいと思う。子供は遊ぶことが一番。公園を作って。
- 大町市、松川村等には遊具のある公園がいくつかあるが、白馬村ではないので作って欲しい。
- 白馬には大きな遊べたり、ゆっくりできる公園がない。北アルプスを見ながら子どもは遊具や芝生で遊んだり、友だちと集まってピクニック気分でお弁当などできる場所ができたらうれしいなと思う。
- 公園が整備されると嬉しい。（松本アルプス公園、北部スポーツレクリエーションパーク、佐久市民交流ひろばなどのような公園があるといいなと思う。）難しいけど。
- 子供たちが安心して遊べる公園、施設等を考えて欲しい。
- 子供があそべる公園がもう少し欲しい。

- もっと子育て環境施設を整えて欲しい。みんながいきたくなるような支援センターや広々とした公園など。子育てをしている世代が担当して考えていってほしい。
- みんなが言っているが公園は必要。そこでいろんな人との情報交換もできる。
- 他の市町村に比べて公園等がないので、わざわざ他の市町村まで連れて遊ばせなければならないので、村に公園を作って欲しい。子育てしやすい村にしてほしい。
- 雨の日の遊ぶ場所がなく、利用できる環境がほしい。例えば五竜スキー場のエスカルプラザの“ウッドランド”は雨の日でもいつでも利用できるので助かる。
- 公園を作って欲しい。白馬や小谷のママたちは公園を求めて大町市や池田、安曇野まで足を伸ばしている。遊具が充実していたり、大きな広場のある公園は地元の子供たちだけでなく、観光客の家族連れも訪れる。地域の活性化だけでなく観光客の増加に繋がっていくと思う。
- 赤ちゃん、園児、小学生皆が一緒に利用できる公園がほしい。
- 子供が集まる場所、親が集う場所として公園を作って欲しい。白馬村の子供たちは小さい頃から親子でのびのび遊んでいる姿が見られない。支援ルーム以外に行く所がないからだと思う。１つ公園があればそこに行けば誰かがいて子どもも親も友だちができ、悩みを相談したり一緒に子育てする仲間が増える。遊びの中で子どもはたくさんの事を学ぶ。支援ルームは年齢別、時間も限られているので、自由に誰もが集まれる場所に公園を作るべきだと思う。これほどの大自然があるのにゲームをする子供が多いのは親も子も自然の中で遊ぶ方法を知らないからだと思う。小さい頃から外遊びをしている子はゲーム以外の楽しみ方を知っている。この自然を活かした教育、保育環境が必要だと思う。未来の子供たちの為に力を注いでほしい。どうしても公園を作る事が難しいのであれば、グリーンスポーツの遊具の見直し、新しく設置する等既存の場所を有効活用したらどうか。
- 未来ある子どもに優しい村、環境であってほしい。村内で育てる為にもう少し公園を作ったり、遊べる施設を作り子育ての母たちが笑顔で居られる場所、集える場所が必要。
- 幼児が遊べる場所が少ない。
- 神城地区にも公園や屋内で遊べるような場所を作って欲しい。元南部保育園の一室をキッズルームのような簡易的な物で使用する保護者たちが責任を持って片付けや掃除をするようにしてもいいと思う。月に２～３回大掃除の日を設けて使用している子の保護者が集まって掃除をしてもいい。南は子供が少ないから負担が大きくなるって思う人もいるかもしれないが、それぐらいの負担は子供の為ならやろうと思うのでは？
- 白馬は運動できる場所が多くあるので、クラスなどを増やして欲しい。とにかく公園が欲しい。ちゃんとした遊具があってどの年齢の子も遊べ、母親たちも見守れる素敵な公園を作って欲しい。
- 公園があると良い。
- 悪天候時や冬季などに利用できる屋内の施設があったら良いと思う。元々地元出身で頼れる身内が近くに居る人もいると思うが、移住してきて夫婦共働きという人も増えていると思うのでそういう家庭の人を基準にいろいろと考えてもらえるとありがたい。白馬は好きだけど何かとお金が高いからと大町市などに住んだという知人が数名。〈サポート等の違いもあると思う〉

《幼児教育について》

- 幼稚園へのあたたかい給食提供によって入所希望者が増え、未満児の受け入れが可能になるのでは？（保育園で作れないか。増設によって。）

《病児・病後児保育について》

- 病児保育の施設があるとありがたい。
- 村内での病児保育の整備を。
- 病児、病後児保育をできる環境を早急にお願いします。

《保育について》

- 保育園保育士の安定した配置の為待遇改善（給与など）希望する。より条件の良い他市町村に流れてしまう確保や負担軽減のため外部から園長を雇用してはどうか。（大町幼稚園長は評判よく、白馬の人）
- 未満児保育受け入れ（待機児童なし）を希望する。また、育児休業中でも未満児を出さない様な体制を整えていただきたい。これから働く女性が益々増えるのにこれでは（今のまま）では子どもが増やせない。白馬は地方の舎田ですが、国際的なコミュニティだからこそ男女平等に安心して子育てができる環境を整えてほしい。
- 保育園の未満児の受け入れ、入園の年齢の引き下げをしてもらえるだけで随分と助かる。
- 地域柄土日保育が充実していると良いと思う。
- 祖父母が同居していると保育園の入園に不利になるのはとても不満。同居しているからと言って安心して子供を預けられる人とは限らないので。冬だけ未満児保育が人数オーバーで入園できない人が出るのも何か対応してほしい。入園がダメなら「支援ルームへ」と言われるが入園できるかできないかで、とてつもなく家計にひびくので。
- 女性に対してもっと優しい子育て環境や支援を整えて欲しい。例えば保育年齢を１０ヶ月から６ヶ月に変更。２、３人目が出産して産休に入っても保育園に在所する子供が退所しなくて良い等。産休なので１人も２人も一緒に面倒見れるは大間違い。
- 保育園の未満児の受け入れをもっと増えたら良いと思う。入園させたいのに出来なくて就職につく事が出来ない状態。出産などで急に子供を預けなければいけない状態の時に預けられないのは困る。３日前から当日でも可能になれば良いと思う。
- 保育料の見直し。妥当ではない気がする。（小谷村と比べてみても）
- 未満児の時保育園に入れなかった。（就労時間が他の方より短かったため）とても困ったので保育園での未満児の受け入れを増やせる方法を検討してほしい。〇月～〇月までなどと出入りが激しく子供にとって保育園で慣れたと思ったら支援ルームになってしまったりと負担。

《医療費について》

- 医療費の検討をお願いする。医療施設（総合病院など）子供が行ける病院があれば嬉しい。
- 窓口完全無料化。
- 子供の医療費（現在５００円）が無償化されると非常にありがたい。
- 病院での子どもの自己負担金をなくしてほしい。
- 医療費の５００円負担もなしになればありがたい。
- 妊娠中の風疹が怖かった。ワクチンの補助金もしくは無料の抗体検査希望。

《通園通学について》

- 小学校でも小谷のようにスクールバスがあったり、英語の授業や留学支援など海外に興味を持ってもらえるような強みがあってもよいかなと思う。
- 子供を育てる中で１番大変なのは送迎です。お友だちが近所にいれば良いがほぼいないので安全のために送迎がほとんどです。送迎の部分で助けて頂けると嬉しい。
- スクールバス運営は「今年からでも」と思うくらい必要な事。小学生に４km 前後平気で歩かせる状態はこのご時世かなり遅れた状況。不審者、クマ対応のためにも村がするべきこと。きちんと見直して考えてほしい。この村は子供に優しくない。子供たちの事を本気で考えて。朝夕と４km 重たい荷物を持って歩いてみて。
- 小学校に関してスクールバスを出して欲しい。（冬季のみでも）
- 通園通学バスがないのは徒歩圏内でない子供がいる家庭の負担が大きすぎる。働きたくても時間の制約ができてしまう。
- 村営バスが必要。色んな方面で使い道がある。そして大至急解決すべき課題。
- 学校まで遠いが歩道、外灯がなく危険な所も多数ある。冬場はスキー場に向かう県外車が通学路を通り見通しも悪く危険。スクールバス（学校手前まででもいいので）出して欲しい。北小の子どもは放課後図書館が利用できたり、そのまま学校帰りにそろばんや習字を習いに行けて南小の子供と差がある。放課後バスで役場や新しい図書館で習いごとが出来ればと思う。
- 田舎なだけに家から学校までが遠い人がたくさんいるのと、国道を歩くなど危険は沢山。そこでボランティア・シルバー人材に協力していただいて子供たちの通学路の安全を見守っていただきたい。
- 白馬は道路が直線的過ぎてスピードを出す車が多いにも関わらず歩道がない。狭い。とても危ない。
- 公共交通機関がないので親が急に体調不良になった時や、小学校に通った時、熊が出たと言われても送迎が出来ずに困る事があるので何とかしてほしい。

《児童クラブについて》

- 保育園の預かりは７：３０～１８：３０だが小学生になると学童が１８：００までとなる。（土曜日は８：３０～１７：００）保育園の預かり時間をベースに働いている者にとってはこの時間短縮が非常にネック。出来れば学童の預かりをもう少し伸ばして欲しい。
- 「１年の壁」に悩むお母さんがたくさんいる。放課後から迎え時間までの間働く親の代わりになるサービスの充実。フルタイム共働きの為に習い事がやりたくてもできない子どもや、子どもの送迎のために常勤で働けない母親たちがたくさんいる。そんな困っている親子のニーズに対応したサービスがほしい。

《母子・妊婦支援について》

- 妊娠時のサポートがもっと手厚いと良いと思う。保育園の情報など入園説明会の時期にならないと案内がないので職場復帰の計画をたてにくい。事前に年間計画表の様なものがあると便利。

《地域子育て支援拠点について》

- 支援ルームで色々なイベントや育児相談をやって下さりありがたい。母親向けのイベント等が多いので父親向けのイベント等も充実させていくと良いと思う。仲良し広場も父親と一緒に来る子供は少ないが父親も入りやすく（授乳は授乳室でする等）していくと良いと思う。
- 人員配置の関係で致し方ないと思うが、支援ルームの予約が２日前までなのは辛い。
- 白馬村には公園がほとんどない。子育て支援ルームの園庭は自由に使えるが、周知されていないようでいつ行っても利用している人が少ない。せっかく数少ない遊具のある場所なのでもっと利用する人が増えると交流の場となると思う。
- 親の病気、下の子の病気などで当日でも支援ルームの預かり保育の受け入れをして頂けるとありがたい。
- 緊急で用事のできた時（親や兄弟の病気等）に預けられるところがない。支援ルームは２日前に予約しないといけないので利用しにくい。
- 支援ルームの曜日、時間指定があると行きたい時に行けないので、不便を感じた。
- 白馬村にはシーズンごとに仕事をしている人も多く、収入が安定しない家庭も多いので保育料を考えると預けにくく、働きに出ずらい。年間雇用の仕事が少ないので一時保育の利用となると一時保育料が安くなるともっと預けやすく働きやすい。（未満児の場合）

《子育て支援について》

- 出産お祝い金がないのもこの辺では白馬村だけだと聞いた。
- 白馬村は出産お祝い金がない。小谷村は１０万円、大町第１子５万、第２子８万、第３子１０万。少子化の現在にとってありがたい政策。
- 出産お祝い金が白馬村だけないので残念。そういう整備の遅れから若い夫婦が他へ移り住んでしまっている。

《その他》

- まずは子育て前の性教育、男女の体の仕組み、特に女性の出産適齢期や不妊の知識などの啓発、教育に各機関で力を入れて欲しい。「子供が欲しい」と思った時に手遅れだったりとか、焦ったりとかする事のないように人生設計できるように各自が考えられるような社会になればと思う。
- 保育園と幼稚園が仲良くしてほしい。同じ白馬の子ども。
- 白馬村の子どもでも村外の認定こども園へ入れるようにしてほしい。
- 以前支援ルームで山﨑先生のお話があり参加しました。家からテレビをなくした方が良しとのお考えをお持ちで私もそう思っている。テレビは受け身になってしまい、大事な幼児期に育みたい想像力など五感を養う機会を奪ってしまう。そんな講演会が開かれていた支援ルームでテレビを見せているのを見てびっくりした。人員の問題もあるのかもしれないが、支援ルームや保育園でテレビを見せるのはどうかと思う。子供の事を第一に考えた環境を作って欲しい。
- 意見を聞くだけでなく具体的に実行し、その過程の報告もしてほしい。外国人も増えているので彼らの意見も取りいれてほしい。
- 今回のアンケートでは第１子についてのアンケートだが、子供が２人３人の時困る事があったり、２人目が大変だったりもするので考えて欲しい。
- 多くは望んでいない。無理だとも思っているし。

- ベビーシッター、家事代行サービスを利用したいが村内にない。地域格差を感じる。
- 質の高い教育を受けさせたいが、これも地域格差を感じる。公立小中学校にバカロレアを導入してほしい。
- “村”と言ってもＩターンの方や別荘所有者が多いので、近所の方と全員知り合うのは難しいと感じた今日保育園や地域のイベントに積極的に参加しているが今後も多くのイベント期待している。
- 通学スクールバス、２児の子どもにお祝い金等隣の小谷村で出来ている事を白馬村でも！
- 防犯や安全のためフェンスや砂場のカバーなどあると嬉しい。（保育園は知らないが、支援ルームはないのでクマなども心配になる。また、砂場にけもののふんがあったことがあるので対策してほしい）
- 年間通して通えるスイミング教室、プール、松本市のラーラ松本を参考にすればよかったと思う。
- バス、ＪＲ等公共交通機関の利便性の向上。
- ニーズがあまりなくても村内に療育施設を今後の子のために考えていって欲しい。送迎が大変だったり、すぐ相談できる場所がほしい。
- 子育て中にこのアンケートはわかりづらい、長い。もっとわかりやすいものを作成してほしい。
- アンケートの返信用封筒が小さい。
- 子育て支援の情報を定期的にメールか郵送でもらえると助かる。
- 小児科オンライン、産婦人科オンラインの無料化ありがとうございました。
- 子育て関連のセミナーや講演会など行きたい！！と思う物は沢山あるが、平日開催のものが多くいつも諦めている。土日開催で。子供連れでも気軽に行けると嬉しい。
- 自然環境はとても良いのに人的環境があまり良くない。公園や公衆トイレの充実化。歩道のバリアフリー化、信号、横断歩道の増設等村として、住民として課題は多いと思う。
- 地域の人とのふれあいの場。昔の遊びや物作りなんかをしてほしい。今の子どもは人と遊ぶことが少ない。家でゲームや親としか遊ばないので。それぞれの地区などで子どもとお年寄りと遊んだりも必要ではないかと。
- 新しく住むと「どこの者だ？」と言うお年寄りが多い。
- ファミサポ、昨年引っ越してきた時にそういうものがあれば教えて欲しかった。
- 子育て支援課の場所が気軽に相談しにくい場所で残念。
- 白馬は観光業でもっている。休日・正月の支援を是非。

白馬村第2期子ども・子育て支援事業計画策定スケジュール

年度		30(2018)年度										31(2019)年度												32(2020)年度
月		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
子ども子育て会議																	役員改選 →							
		第1回会議			第2回会議					第3回会議				第1回会議			第2回会議	第3回会議		第4回会議				
		計画策定の概要			ニーズ調査票案					ニーズ調査結果の概要				現計画の評価 計画の章立て			計画原案	計画最終案		計画確定				
子ども・子育て支援事業計画	ニーズ調査		国による支援見込量の手引きの発表			調査実施 ← →				集計・分析・報告書作成														
	現計画の評価			←	現計画の評価						→													
	計画策定											章立ての検討 ← →			計画素案の作成 ← →				パブコメ ← →	最終案	課長会議			運用開始
周知					利用希望調査実施の周知													パブコメ周知 ← →						